

平成 23 年 度

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

事 業 報 告 書

美 幌 商 工 会 議 所

平成23年度事業報告書

自 平成23年4月 1日
至 平成24年3月31日

総括的概要

平成23年度のわが国経済は、東日本大震災により深刻な打撃を受け、厳しい状況からのスタートとなりました。

その後、官民の総力を結集した復旧・復興努力により、景気は持ち直しに転じたが、デフレの長期化、急激な円高、欧州政府債務危機による世界経済低迷等の影響を受け、景気回復の足取りは緩やかなものとなった。

北海道経済においては、東日本大震災の直接的被害は限定的であったが、原発事故の風評被害による外国人観光客の減少や多くの間接的被害を受け、さらには国内経済の減速を背景に景気は足踏み状態に陥った。

こうした状況下にあって、当商工会議所は商工会議所に課せられた責務を銘記し、関係機関・団体との連携を密にし、当面する景気対策はもとより、地域経済の再生・振興、社会資本の整備等への対応についての要望等、各般にわたる施策の展開を強く求めるとともに、各種事業の推進に努めた。

特に、商工会議所の最重点事業である小規模企業振興対策は小規模企業者の経営基盤の強化と健全な発展に資するため、金融の斡旋や税務指導等の強化を図り経営改善普及事業に努めた。

事 項 別 状 況

1. 定 款 及 び 規 約 等

(1) 定 款

本年度は定款の変更は行わなかった。

(2) 規 約

本年度は規約の変更は行わなかった。

2. 組 織

(1) 会 員

A 会 員 数

区 分	前年度末 会 員 数	新 規 加 入 者 数	脱 会 者 数 (廃業による)	年 度 末 会 員 数
個 人	2 8 6	6	7	2 8 5
法 人	2 6 5	5	5	2 6 5
合 計	5 5 1	1 1	1 2	5 5 0

会 費 負 担 口 数 別 会 員 数

口 数	会 員 数	口 数	会 員 数	口 数	会 員 数
1 口	2 1 5	8 口	7	2 3 口	1
2 口	6 2	1 0 口	1 2	2 5 口	2
3 口	1 5 3	1 2 口	2	3 0 口	7
4 口	1 5	1 3 口	1	3 5 口	1
5 口	4 8	1 5 口	4	5 0 口	1
6 口	6	1 8 口	2		
7 口	8	2 0 口	3		

(議員の選挙は会費1口に付1票、但し、1会員最高50票を限度とする。)

B 部 会

部 会 名	所 属 業 種	所 属 部 会 員 数
商 業 部 会	卸売業、各種商品小売業、織物・衣服身の回り小売、飲食料品小売、自動車等小売、家具・じゅう器家庭器具小売、その他小売	163
建 設 業 部 会	総合建設業、職別工事業、設備工事業	80
工 業 部 会	製造業全般、運輸・通信業	97
環 境 衛 生 部 会	飲食店、サービス業（洗濯・理美容業・浴場・旅館業）	103
庶 業 部 会	農業、林業、金融保険業、不動産業 サービス業（*環境衛生部会のサービス業以外）	107

C 委 員 会

委 員 会 名	委 員 数	主 な 審 議 事 項
商 工 業 振 興 委 員 会	15	地域商工業の振興・育成、その他中小企業の振興対策についての事項
観 光 振 興 委 員 会	14	観光産業の育成、観光客誘致対策等に関する事項
総 務 委 員 会	15	本所の基本的運営並びに他委員会に属せざる事項
小 企 業 等 経 営 改 善 資 金 審 査 会	5	小企業等経営改善資金貸付に係る審査
市 町 村 合 併 対 策 委 員 会	18	市町村合併並びに商工会議所等合併問題の検討

(2) 特 定 商 工 業 者

区 分	特 定 商 工 業 者	内 訳	
		会 員 数	非 会 員 数
法 人	260	203	57 (52)
計	260	203	57 (52)

() は非会員中、負担金を納入している数

(3) 役員

A 平成24年3月31日現在の各役員の定数及び実数

区分	定数	実数	備考
会 頭	1	1	
副 会 頭	2	2	
専 務 理 事	1	1	
常 議 員	13	13	
監 事	2	2	

B 平成24年3月31日現在の役員の氏名、企業の名称及び企業上の地位、企業の業種

役 名	氏 名	企 業 の 名 称 及 び 企 業 上 の 地 位	企 業 の 種 類
会 頭	若 林 輝 彦	(有) か つ や 社 長	薬 局
副 会 頭	山 本 和 則	(株) ダ イ イ チ 会 長	建 設
〃	久 山 邦 徳	(株) 久 山 商 店 社 長	文 具 販 売
専 務 理 事	佐 藤 隆	美 幌 商 工 会 議 所	
常 議 員	後 藤 哲 也	(株) 三 共 後 藤 建 設 社 長	建 設
〃	永 澤 則 次	(株) な が さ わ 社 長	食 品 販 売
〃	横 山 喜 義	(株) 四 ツ 輪 工 業 社 長	管 工 事
〃	古 舘 繁 夫	(有) 古 舘 板 金 工 業 所 所 長	板 金
〃	長 岡 敬 幸	(有) マ リ モ 社 長	洋 品 販 売
〃	宮 田 博 行	(株) 宮 田 建 設 社 長	建 設
〃	大 西 均	(有) 大 西 燃 料 店 社 長	燃 料 販 売
〃	菅 原 雅 之	菅 原 雅 之 税 理 士 事 務 所 所 長	税 理 士
〃	中 川 寿 一	三 星 運 輸 (株) 社 長	運 輸
〃	永 江 宣 文	ク レ ー ド ル 食 品 (株) 副 社 長	食 品 加 工
〃	熊 谷 政 博	網 走 信 用 金 庫 美 幌 支 店 支 店 長	金 融
〃	田 村 博 昭	美 幌 貨 物 自 動 車 (株) 社 長	運 輸
〃	福 田 孝 俊	(有) ふ く だ 社 長	飲 食 業
監 事	石 澤 信 勝	(株) 電 建 会 長	電 気 工 事
〃	松 田 寿 夫	松 田 部 品 (株) 社 長	自 動 車 部 品

(4) 議員

A 平成24年3月31日現在の各議員の定数及び実数

区 分	定 数	実 数	備 考
1 号 議 員	25	25	
2 号 議 員	15	15	
3 号 議 員	7	7	
合 計	47	47	

B 平成24年3月31日現在の議員の氏名、企業の名称及び企業上の地位企業の業種

氏名	企業の名称及び企業上の地位	企業の業種	備考
1号議員			
有岡 康 則	(株) 有岡木材店 社長	建 材 卸	
川口 常 夫	(株) 生駒楽器 社長	楽 器 販 売	
猪本 美 行	(有) 猪本製作所 社長	家具・建具製造	
上西 恵	(株) ウエニシ 社長	青果物移出	
大井 正 行	(株) 大井機販 社長	農機具販売	
大西 均	(有) 大西燃料店 社長	燃 料 販 売	
大西 栄	(株) 大西パン店 社長	食 品 製 造	
大野 江 二	大野種苗生産販売(株) 社長	種 苗	
高橋 清 文	(株) オホーツク設備 社長	管 工 事	
山中 敏 文	(有) さんけん 社長	建 築 工 事	
池 功 司	(有) シルバーサポートノア 社長	福 祉 介 護	
鈴木 将 晋	(有) スズキ電器 社長	家 電 販 売	
森 英 樹	(株) 寿しの竹ちゃん 社長	飲 食 業	
佐藤 一 雄	(株) ソフトコーポレーション 常務	不 動 産	
種田 善 夫	(有) 種田工務店 社長	建 築	
中村 仁 郎	(有) 中村商店 社長	米 穀 燃 料	
広岡 昭 雄	(有) ひろおか 社長	衣 料 品 販 売	
福田 孝 俊	(有) ふくだ 社長	飲 食 業	
古舘 繁 夫	(有) 古舘板金工業所 所長	板 金	
小形 明	(株) ベストメント 社長	損 害 保 険	
乙武 俊 広	(有) 北新電設 社長	電 気 工 事	
味噌 一 郎	(同) 味噌精肉店 社長	精 肉 卸 小 売	
谷 政 則	(株) ミートテック 社長	豚 肉 卸 小 売	
山本 秀 幸	(有) 山本電器商会 社長	家 電 販 売	
横山 喜 義	(株) 四ッ輪工業 社長	管 工 事	

2号議員				
永澤則次	(株) な が さ わ	社 長	食 品 販 売	商 業 部 会
長岡敬幸	(有) マ リ モ	社 長	洋 品 販 売	〃
前田祐輔	(有) 前 田 商 店	社 長	金 物 販 売	〃
若林輝彦	(有) か つ や	社 長	薬 局	〃
久山邦徳	(株) 久 山 商 店	社 長	文 具 販 売	〃
山本和則	(株) ダ イ イ チ	会 長	建 設	建 設 部 会
宮田博行	(株) 宮 田 建 設	社 長	建 設	〃
田村博昭	美幌貨物自動車(株)	社 長	運 輸	〃
永江宣文	クレードル食品(株)	副社長	食 品 製 造	工 業 部 会
蓮井博文	(株) 蓮 井 鉄 工 所	社 長	鉄 骨 工 事	〃
横山直樹	(株) 横 山 土 建	社 長	コンクリート製造	〃
三坂重弘	青 葉 荘	代 表	旅 館	環 境 衛 生 部 会
林 真 男	(有) こ う り ん	社 長	葬 祭 業	〃
宮野孝司	北見信用金庫美幌支店	支店長	金 融	庶 業 部 会
菅原雅之	菅原雅之税理士事務所	所 長	税 理 士	〃
3号議員				
熊谷政博	網走信用金庫美幌支店	支店長	金 融	
後藤哲也	(株) 三 共 後 藤 建 設	社 長	建 設	
中川寿一	三 星 運 輸 (株)	社 長	運 輸	
大沼剛	聖 太 建 設 (株)	社 長	建 設	
田村栄治	(株) 田 村 精 肉 店	社 長	精 肉 卸 小 売	
太田良知	日本甜菜製糖(株)美幌製糖所	所 長	製 糖	
平 康 司	(株) 北 洋 銀 行 美 幌 支 店	支店長	金 融	

(5) 部 会 長 等 (平成24年3月31日現在)

- 商業部会
 - 部 会 長 長 岡 敬 幸 (有) マ リ モ 社 長
 - 副 部 会 長 久 山 邦 徳 (株) 久 山 商 店 社 長
 - 副 部 会 長 前 田 祐 輔 (有) 前 田 商 店 社 長

- 建設業部会
 - 部 会 長 後 藤 哲 也 (株) 三 共 後 藤 建 設 社 長
 - 副 部 会 長 古 舘 繁 夫 (有) 古 舘 板 金 工 業 所 所 長
 - 副 部 会 長 猪 本 美 行 (有) 猪 本 製 作 所 社 長

- 工業部会
 - 部 会 長 永 江 宣 文 ク レ ー ド ル 食 品 (株) 副 社 長
 - 副 部 会 長 蓮 井 博 文 (株) 蓮 井 鉄 工 所 社 長
 - 副 部 会 長 横 山 直 樹 (株) 横 山 土 建 社 長

- 環境衛生部会
 - 部 会 長 福 田 孝 俊 (有) ふ く だ 社 長
 - 副 部 会 長 三 坂 重 弘 青 葉 荘 代 表
 - 副 部 会 長 大 野 秀 樹 (株) 後 楽 園 社 長

- 庶業部会
 - 部 会 長 熊 谷 政 博 網 走 信 用 金 庫 美 幌 支 店 支 店 長
 - 副 部 会 長 菅 原 雅 之 菅 原 雅 之 税 理 士 事 務 所 所 長
 - 副 部 会 長 池 功 司 (有) シ ル バ ー サ ポ ー ト ノ ア 社 長

(6) 委員会等(平成24年3月31日現在)

商工業振興委員会(15名)							
委員長	長岡敬幸	(有)	マ	リ	モ	社	長
副委員長	宮田博行	(株)	宮	田	建	設	社
委員	川口常夫	(株)	生	駒	楽	器	社
	永江宣文		ク	レ	ー	ド	ル
	田村博昭		美	幌	貨	物	自
	猪本美行	(有)	猪	本	製	作	所
	大沼剛		聖	太	建	設	(株)
	乙武俊広	(有)	北	新	電	設	社
	鈴木将晋	(有)	ス	ズ	キ	電	器
	田村栄治	(株)	田	村	精	肉	店
	種田善夫	(有)	種	田	工	務	店
	高橋清文	(株)	オ	ホ	ー	ツ	ク
	前田祐輔	(有)	前	田	商	店	社
	山中敏文	(有)	さ	ん	け	ん	社
	山本秀幸	(有)	山	本	電	器	商

観光振興委員会(14名)							
委員長	横山喜義	(株)	四	ッ	輪	工	業
副委員長	福田孝俊	(有)	ふ	く	だ	社	長
委員	大西栄	(株)	大	西	パ	ン	店
	永澤則次	(株)	な	が	さ	わ	社
	中川寿一		三	星	運	輸	(株)
	池功司	(有)	シ	ル	バ	ー	サ
	上西恵	(株)	ウ	エ	ニ	シ	社
	大井正行	(株)	大	井	機	販	社
	大野江二		大	野	種	苗	生
	佐藤一雄	(株)	ソ	フ	ト	コ	ー
	谷政則	(株)	ミ	ー	ト	テ	ッ
	林真男	(有)	こ	う	り	ん	社
	三坂重弘		青	葉	荘	代	表
	森英樹	(株)	寿	し	の	竹	ち

総務委員会（15名）	
委員長	後藤 哲也 (株) 三共後藤建設社長
副委員長	菅原 雅之 菅原雅之税理士事務所 所長
〃	平 康司 (株) 北洋銀行美幌支店 支店長
委員	大西 均 (有) 大西燃料店 社長
〃	古舘 繁夫 (有) 古舘板金工業所 所長
〃	熊谷 政博 網走信用金庫美幌支店 支店長
〃	有岡 康則 (株) 有岡木材店 社長
〃	太田 良知 日本甜菜製糖(株)美幌製糖所 所長
〃	小形 明 (株) ベストミント 社長
〃	中村 仁郎 (有) 中村商店 社長
〃	蓮井 博文 (株) 蓮井鉄工所 社長
〃	広岡 昭雄 (有) ひろおか 社長
〃	味噌 一郎 (同) 味噌精肉店 社長
〃	宮野 孝司 北見信用金庫美幌支店 支店長
〃	横山 直樹 (株) 横山土建 社長

市町村合併対策委員会
会頭、副会頭、専務理事、常議員、監事で構成

◎美幌TMO計画策定推進委員会

- 委員長 久山 邦徳 (副会頭)
副委員長 長岡 敬幸 (商工業振興委員長)
〃 宮田 博行 (商工業振興副委員長)
委員 川口 常夫・永江 宣文・田村 博昭・猪本 美行
大沼 剛・乙武 俊広・鈴木 将晋・田村 栄治
種田 善夫・高橋 清文・前田 祐輔・山中 敏文
山本 秀幸 (商工業振興委員)
横山 喜義 (観光振興委員長) 福田 孝俊 (観光振興副委員長)
大西 栄 (観光振興副委員長)
後藤 哲也 (総務委員長) 菅原 雅之 (総務副委員長)
平 康司 (総務副委員長)
(商店会関係)
宮村 正・岡本 光範・加藤 敏明・杉本 誠
本田 卓己・柴山 淳一・佐藤 修三
(商工会議所青年部)
大湯 恭弘・長谷川 浩一・井倉 真奈美・松浦 和浩

(7) 顧問

土	谷	耕	治	美	幌	町	長
古	館	繁	夫	美	幌	町	議
池	田	重	則	美	幌	駐	屯
外	崎	雅	洋	美	幌	警	察

(8) 参与

横	山	正	造	前	副	会	頭
中	村	昭	士	前	監	事	
有	岡	貞	雄	前	監	事	

3. 選挙及び選任

(1) 議員

本年度1号議員の選挙は行わなかった。

(2) 役員

本年度役員を選任については行わなかった

4. 事務局

(1) 事務局の構成

事	部 課 名	所 属 事 務	職 員 数
務	総 務 課	庶務、会計、経理、会館管理、行事、調査、広報、 美幌峠売店管理	4
局	指 導 課	小規模事業指導業務、青色申告会及び法人会育成 労働保険事務組合	4

(2) 事務局職員

A 職員の職務及び氏名

事務局次長（経営指導員）	横	山	清	美
経営指導員（指導課長）	深	田	裕	二
〃	河	野	聡	
補助員	伊	藤	健	一

B 職員の数

区分	専任職員	経営指導員	補助員	記帳専任職員	傭人	計
男	1	3	1		2	7
女	1					1
計	2	3	1		2	8

5. 庶

務

(1) 文

書

() はファクシミリ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
受信	225 (261)	241 (163)	270 (211)	237 (211)	256 (175)	256 (141)
発信	1,087 (417)	392 (346)	612 (903)	369 (666)	380 (605)	261 (183)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
227 (220)	227 (197)	249 (159)	199 (174)	205 (165)	227 (222)	2,819 (2,299)
1,780 (819)	480 (596)	167 (491)	341 (521)	169 (191)	152 (557)	6,190 (6,295)

(2) 表彰・受賞

A 表彰

◎美幌商工会議所商工従業員表彰式 (表彰年月日 平成23年11月日)

- ・特別表彰者 (45年以上) 1名 三星運輸(株) 細川光男
- ・特別表彰者 (40年以上) 1名 (株)重林機 田村秀雄
- ・特別表彰者 (35年以上) 2名 三星運輸(株) 山本秀清
(株)重林機 片桐祥順
- ・特別表彰者 (30年以上) (株)オホーツク設備 神田松夫 他 3名
- ・勤続25年以上 聖太建設(株) 平坂和明 他 10名
- ・勤続20年以上 (有)前田商店 宮浦節子 他 4名
- ・勤続15年以上 (有)小国商事 篠永雪子 他 9名
- ・勤続10年以上 (有)久山薬局 松田めぐみ 他 9名
- ・勤続5年以上 三星運輸(株) 鎌田淑道 他 7名

B 受賞

◎北海道商工会議所連合会表彰

受賞年月日 平成23年6月8日

表彰規程第3条該当

- | | | |
|-------|-----|------|
| 勤続20年 | 副会頭 | 山本和則 |
| 勤続15年 | 常議員 | 横山喜義 |
| 〃 | 監事 | 松田寿夫 |

(3) 慶弔その他

関係機関及びその他の式典等に祝辞及び祝意を表し、会員等の不幸には弔慰を表し、また、関係団体の転退任に際しては餞別を贈り、あるいは歓送迎会の主催を行った。

7月14日	第5旅団副旅団長歓迎会
8月19日	美幌駐屯地司令歓迎会
8月26日	㈱丸和油脂美幌工場竣工式
9月3日	第5旅団創立記念行事
9月5日	第1特科群長歓迎会
10月16日	北部方面隊創隊59周年
11月10日	帯広商工会議所創立90周年
12月7日	美幌町自治会連合会創立40周年
2月26日	特別養護老人ホーム「緑の苑」竣工式
3月3日	美幌ローターアクトクラブ創立40周年

6. 会 議

(1) 議員総会

A 通常議員総会

◎第84回通常議員総会

- ・日 時 平成23年6月27日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席議員 議員定数47名中44名（内委任状行使者数13名）、監 事 2名
専務理事他事務局員 4名

議 題

決 議 事 項

- 第1号議案 平成22年度美幌商工会議所事業報告について
- 第2号議案 平成22年度美幌商工会議所一般会計収支決算報告について
- 第3号議案 平成22年度中小企業相談所特別会計収支決算報告について
- 第4号議案 平成22年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支決算報告について
- 第5号議案 平成22年度役職員退職給与金特別会計収支決算報告について
- 第6号議案 平成22年度財政調整積立金特別会計収支決算報告について
- 第7号議案 貸借対照表並びに財産目録について

報 告 事 項 1. 総務委員会からの報告

◎第85回通常議員総会

- ・日 時 平成24年3月29日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席議員 議員定数47名中43名（内委任状行使者数11名）、監 事 2名
専務理事他事務局員 4名

議 題

決 議 事 項

- 第1号議案 平成24年度事業計画案について
- 第2号議案 平成24年度会員会費1口の金額及び納付について
- 第3号議案 平成24年度一般会計収支予算案について
- 第4号議案 平成24年度中小企業相談所特別会計収支予算案について
- 第5号議案 平成24年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支予算案について
- 第6号議案 平成24年度役職員退職給与金特別会計収支予算案について
- 第7号議案 平成24年度財政調整積立金特別会計収支予算案について

- 第 8 号議案 平成 2 4 年度一時借入金限度額について
第 9 号議案 びほろ納涼花火大会特別会計収支予算案について
報 告 事 項 1. 地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト過年度採択プロジェクト
 本体事業 2 年目について
 2. にぎわいの駅整備事業進捗状況について

B 議員懇談会

- ・日 時 平成 2 3 年 6 月 2 7 日
- ・場 所 肉の割烹田村
- ・懇談内容 商工会議所運営について

(2) 常 議 員 会

◎第 3 1 3 回常議員会

- ・日 時 平成 2 3 年 6 月 2 7 日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 1 7 名

議 題

協 議 事 項

- 第 1 号議案 平成 2 2 年度美幌商工会議所事業報告について
- 第 2 号議案 平成 2 2 年度一般会計収支決算報告について
- 第 3 号議案 平成 2 2 年度中小企業相談所特別会計収支決算報告について
- 第 4 号議案 平成 2 2 年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支決算報告について
- 第 5 号議案 平成 2 2 年度役職員退職給与金特別会計収支決算報告について
- 第 6 号議案 平成 2 2 年度財政調整積立金特別会計収支決算報告について
- 第 7 号議案 貸借対照表並びに財産目録について

報 告 事 項

- 1. 総務委員会からの報告

◎第 3 1 4 回常議員会

- ・日 時 平成 2 3 年 1 2 月 1 2 日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 1 7 名

議 題

決 議 事 項

- 第 1 号議案 平成 2 4 年度美幌町に対する要望事項について

◎第 3 1 5 回常議員会

- ・日 時 平成 2 4 年 3 月 2 9 日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 1 8 名

議 題

協 議 事 項

- 第 1 号議案 平成 2 4 年度事業計画案について
- 第 2 号議案 平成 2 4 年度会員会費 1 口の金額及び納付について
- 第 3 号議案 平成 2 4 年度一般会計収支予算案について
- 第 4 号議案 平成 2 4 年度中小企業相談所特別会計収支予算案について
- 第 5 号議案 平成 2 4 年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支予算案について
- 第 6 号議案 平成 2 4 年度役職員退職給与金特別会計収支予算案について

- 第7号議案 平成24年度財政調整積立金特別会計収支予算案について
 第8号議案 平成24年度一時借入金限度額について
 第9号議案 びほろ納涼花火大会特別会計収支予算案について
 決議事項
 第1号議案 東北海道商工会議所連絡協議会提出案件について
 報告事項 1. 地域力活用新事業の全国展開プロジェクト過年度採択プロジェクト
 本体事業2年目について
 2. にぎわいの駅整備事業進捗状況について

(3) 監査会

- ・日時 平成23年6月13日
 - ・場所 美幌経済センター
 - ・出席者 定数 2名 出席者数 2名
- 平成22年度美幌商工会議所事業内容及び一般会計、中小企業相談所特別会計、美幌峠レストハウス運営特別会計、役職員退職給与金特別会計、財政調整積立金特別会計

(4) 部会

部会名	年月日	議題
商業部会	23. 7. 8	1. 金融研修会開催支援
	23. 11. 16	1. 農商工連携セミナー開催支援
建設業部会	23. 7. 8	1. 金融研修会開催支援
	23. 11. 16	1. 農商工連携セミナー開催支援
工業部会	23. 7. 8	1. 金融研修会開催支援
	23. 10. 24	1. 経営セミナー開催支援
環境衛生部会	23. 7. 8	1. 金融研修会開催支援
庶業部会	23. 7. 8	1. 金融研修会開催支援
	23. 10. 24	1. 経営セミナー開催支援

(5) 委員会

委員会名	年月日	出席者	議題
商工業振興委員会	23.12. 8	11	1. 平成24年度美幌町に対する要望事項 2. 新年交礼パーティーの開催について
	24. 3.13	11	1. 平成24年度事業計画について 2. 東北海道連絡協議会要望事項について
観光振興委員会	23.12. 8	10	1. 平成24年度美幌町に対する要望事項 2. 新年交礼パーティーの開催について
	24. 3. 7	12	1. 平成24年度事業計画について 2. 東北海道連絡協議会要望事項について
総務委員会	23. 6.21	11	1. びほろ納涼花火大会開催について 2. 講演会等の開催について
	23. 8. 8	10	1. びほろ納涼花火大会開催について
	23.10.12	7	1. 講演会開催打ち合わせについて
	23.12. 6	10	1. 平成24年度美幌町に対する要望事項 2. 新年交礼パーティーの開催について
	24. 3. 13	11	1. 平成24年度事業計画について

			2. 東北北海道連絡協議会要望事項について
小企業等経営改善資金審査会	23. 5. 30	5	審査件数 2件
	23. 12. 1	5	〃 2件
			計 4件
美幌TMO計画策定推進委員会	議題 1. にぎわいの駅整備事業について 開催日 23. 6. 14、7. 22、7. 25、8. 22、9. 16、11. 30、12. 8、 24. 2. 1、3. 13 計9回		

(6) その他の会議

会議名	年月日	出席者	議 題
正副会頭会議	23. 5. 2	7	1. 第91回東北北海道連絡協議会開催について
	23. 5. 30	8	1. 常議員会並びに通常議員総会の日程調整 2. 全道商工会議所大会参加について 3. 緊急雇用創出推進事業に伴う委託事業について
	23. 6. 20	8	1. 常議員会並びに通常議員総会に附議する件 2. 全道商工会議所大会参加について
	23. 8. 1	8	1. 北海道・東北商工会議所連絡会議参加について 2. 会員親睦ゴルフ大会参加状況について 3. びほろ納涼花火大会開催の件 4. 美幌ブランド開発委員会進捗状況について
	23. 10. 3	5	1. 研修会開催について
	23. 11. 18	8	1. 従業員表彰式挙行について 2. 常議員会の開催について
	23. 12. 12	6	1. 常議員会の開催について 2. 行事予定について
	24. 2. 23	8	1. 通常議員総会並びに常議員会日程について 2. TMO構想「北3丁目再開発事業」について 3. 美幌峠レストハウステナント料について
	24. 3. 21	7	1. 常議員会並びに通常議員総会に附議する件

◎各分野リーダー別懇談会

日 時 平成23年10月24日

出 席 美幌町長・副町長

美幌町議会議長・副議長

美幌町農業協同組合長・専務・参事

美幌商工会議所会頭・副会頭・専務理事

◎職員例会 (毎月1回開催)

7. 事 業

(1) 各種事業活動

①観光事業

- イ 美幌峠に所有する展望休憩室(指定管理者)・売店を観光客に対し利便を与えた。
- ロ 美幌峠秋風コンサート支援 平成23年9月1日
- ハ 美幌峠初日の出フェスティバル支援 平成24年1月 1日

②中心市街地活性化事業の実施

- イ ポイントカードシステム事業「協同組合スマッピーカードびほろ」事務支援
- ロ 空き店舗活用事業 空き店舗対策補助 1店舗 (オホーツク美幌食堂)
- ハ びほろ町内消費拡大セール事業

1. 趣 旨

美幌町連合商店会・協同組合スマッピーカードびほろ・美幌商工会議所の3団体で、消費拡大による美幌町内の経済活性化を目的に「びほろ町内消費拡大セール」を実施。

2. 実施団体：びほろ町内全域消費拡大推進実行委員会

3. 後 援：美 幌 町

4. 事業内容

- ・「プレミアム付プリペイドカードチャージ事業」
 - 日 時 6月18日(日) 午前10時～午後5時
 - 会 場 しゃきっとプラザ「集団検診ホール」
 - 内 容 10,000円をカードにプリペイド入金で、3,000円のプレミアムを加算。
- ・ポイント2倍セール
 - 実施期間 平成23年6月18日～6月30日
- ・プリペイド宝くじ祭り
 - 期 間 平成23年7月1日(金)～平成23年7月31日(日)
 - 内 容 スマッピーカードのプリペイドにて買物された方限定
500円毎にスマッピー宝くじを1枚進呈。抽選会を8月10日に実施。

ニ 協同組合スマッピーカードびほろ年末年始大売出しの支援

- 売出期間 平成23年11月14日～平成24年1月2日
- 抽 選 会 平成24年1月2日 美幌経済センターにて実施
- 参 加 店 スマッピーカードびほろ加盟店及び美幌町連合商店会協力店
- 内 容 温泉ペアご招待、福袋、商品券等の贈呈。

③平成23年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト本体事業2年目

事業名： 美幌産豚を使用した豚醤油と関連商品の開発並びに販路開拓

イ 部会の開催

(1) 全体部会

【 第1回 】

- 日 時 平成23年4月26日 午後7時
- 場 所 美幌経済センター 3F 会議室
- 実施事項 (1) 今年度の事業の進め方について

【 第2回 】

- 日 時 平成23年6月22日午後3時
- 場 所 中華料理店 天上天
- 実施事項 (1) 豚醤油並びに関連商品開発経過報告並びに試食とテイスティング
(2) 今後の事業展開について

(2) 美幌豚醤油開発部会

【第1回】全体部会終了後

日 時 平成23年4月26日 午後7時
場 所 美幌経済センター 3F 会議室

【第2回】全体部会終了後

日 時 平成23年6月22日 午後3時
場 所 中華料理店 天上天

【第3回】

日 時 平成23年8月24日 午後7時
場 所 中華料理店 天上天

実施事項 (1) 美幌豚醤油テイスティングについて
(2) 今後の事業の進め方について

【第4回】

日 時 平成23年11月15日 午後7時30分
場 所 居酒屋 加賀屋

実施事項 (1) 試作品について
(2) 活用レシピの開発方法について
(3) feel NIPPON 出展について
(4) 専門講師派遣スケジュール(案)について

【第5回】

日 時 平成23年12月13日 午後3時
場 所 美幌経済センター

実施事項 (1) 美幌豚醤油の商品化に向けた専門家との意見交換会
専門家 堀田 正子氏(NPO法人こめみそしょうゆアカデミー事務局長)

【第6回】

日 時 平成24年1月6日 午後6時30分
場 所 中華料理店 天上天

実施事項 (1) 美幌豚醤油「まるまんま」商品化に向けた事業展開について
(2) エフエムラジオ AIR-G' 「北海道クオリティ～食 LOVE～」について

(3) 美幌豚バーガー普及部会

【第1回】全体部会終了後

日 時 平成23年4月26日 午後7時
場 所 美幌経済センター 3F 会議室

【第2回】

日 時 平成23年7月26日 正午
場 所 レストラン スパイス ラボラトリー

実施事項 (1) テスト販売を実施しての報告会・意見交換
(2) さっぽろオータムフェスト出店について

【第3回】

日 時 平成23年8月25日 正午
場 所 レストラン スパイス ラボラトリー

実施事項 (1) 木下シェフ調理 DVD 作成報告
(2) 販売価格について
(3) 町内、販売店舗確保について

(4) 美幌豚開発部会

【 第1回 】

日 時 平成23年5月24日 午後7時
場 所 レストラン スパイス ラボラトリー

【 第2回 】

日 時 平成23年8月24日 午後5時30分
場 所 ㈱ミートテック事務所

実施事項 (1) 前期飼育報告と後期飼育開始について
(2) 美幌豚のルールの検討・協議

【 第3回 】

日 時 平成23年11月25日 午後7時
場 所 居酒屋 加賀屋

実施事項 (1) 後期の飼育方法の確認と今後の飼育について
(2) 次年度以降の事業について

ロ 視察研修の実施

「グルメ&ダイニングスタイルショー 春2012feel NIPPON 出展」

日 時 平成24年2月8日(水) 9日(木) 10日(金) 3日間
時 間 10:00~18:00 (10日最終日は10:00~17:00まで)
場 所 東京ビッグサイト
目 的 ・美幌豚醤油が東京近郊のバイヤーなどにどのように評価されるかを知る。
・今後の販路先を探す。契約内容があえば販売も検討する。

ハ その他

「専門家派遣による意見交換会の実施について」

日 時 平成23年12月13日(火) 午後7時~
場 所 居酒屋 加賀屋
講 師 堀田 正子 氏 (NPO法人こめみそしょうゆアカデミー事務局長)

「FM北海道 AIR-G「北海道クオリティー食 LOVE」収録」

「食クラスター連携協議体」のプロジェクトに採択、ラジオ番組にて商品のPRができる、FM北海道 AIR-G「北海道クオリティー食 LOVE」に採用収録。

収録日 平成24年1月18日(水) 午後6時開始~
場 所 札幌時計台ビル14階
放送日 平成24年1月27日(金) 午後12時30分~12時55分
収録内容 プロジェクトの背景、豚醤油の取組みについて他
参加者 専門家 太田裕一(オホーツク圏食品加工技術センター主任研究員)
美幌商工会議所 補助員 伊藤健一

「STV札幌テレビ「どさんこワイド179」放送」

放送日 平成23年9月29日午後3時48分開始~
場 所 美幌駅前
放送内容 ・美幌豚バーガー、美幌豚醤油「まるまんま」の紹介
・美幌高校生徒の飼育豚肉の紹介

④美幌町企業誘致・育成推進協議会に参画。

⑤美幌・津別地域季節労働者通年雇用促進支援協議会事業支援

季節労働者の通年雇用促進の為、求人開拓、求人情報の事業支援を行った。

- ・総会 5月24日
- ・運営委員会 5月22日、7月30日、3月24日
- ・セミナー 9月2日、10月21日、1月25日 102人 参加
- ・就職合同面談 平成24年2月21日 17名参加 3名の就業
- ・資格取得講習 平成24年2・3月 受講者 27人

⑥緊急雇用創出推進事業「観光調査・観光案内業務」委託事業

国が創設した緊急雇用創出事業に基づき美幌町より事業の委託を受けた。

- 1 委託業務名 観光調査・観光案内業務
- 2 委託内容 美幌峠における観光案内業務・観光実態調査
- 3 雇用者数 4人
- 4 雇用期間 平成23年6月1日～平成23年10月31日 延306人日

⑦高齢者等買い物支援協議会事業支援

高齢者等の買い物弱者に対する支援策等に対する事業支援を行った。

- ・協議会の開催 10月21日、12月21日、2月24日、3月26日
- ・買い物に関するアンケート調査の実施
11月に町内65歳以上を対象に900名を抽出、525人(回収率58%)の回収。

⑧研修会の主催及び共催

年月日	テーマ	講師
23.5.13	「天の時、地の利、人の和」	筑波大学人文社会研究科 国際日本研究専攻教授 佐藤貢悦 氏
23.7.8	オホーツク経済セミナー 「震災後、今こそ考える地域経済のあり方」	セゾン投資(株) 洪澤 健 氏
23.10.24	最近のビートとビート糖をめぐる情勢について	日本甜菜製糖(株)美幌製糖所 所長 太田良知 氏
23.10.29	日経 経済セミナー in 美幌	日本経済新聞社札幌支社 営業部長 鉄川一男 氏
23.11.16	日本の経済を元気にしよう	日本政策金融公庫札幌支店 山崎政行 氏 税理士 菅原雅之 氏

⑨美幌地方自衛隊協力会事業支援

美幌駐屯地隊員の激励並びに後援等に努めるとともに、自衛隊の実態を認識し、自衛隊の健全な育成・発展に寄与することを目的に役員として事業支援を行った。

- ・会議等の開催 幹事会(4月19日)・役員会(6月10日)・総会(6月10日)
- ・機関紙「北辰新聞」の月1回の発行

⑩自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会事業支援

美幌駐屯部隊の存置及び充実整備を図り、併せて隊区内市町村の振興に寄与することを目的とした、町内の自衛隊協力諸団体及び経済界の代表により構成された団体「陸上自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会」の一員として事業支援を行った。

- ・会議等の開催 総会（5月25日）
役員会（4月6日、9月29日、10月14日）
- ・陳情活動
日時 平成23年10月17～18日
陳情先 美幌駐屯地・帯広駐屯地・北部方面総監部・第1特科団
日時 平成23年11月9～11日
陳情先 陸上幕僚幹部・防衛省・防衛関係議員・地元選出国會議員
- ・防衛講話 平成23年11月27日 テーマ「迫る米中逆転と復活するロシア」
講師 矢野義昭氏（元美幌駐屯地司令）
- ・各種自衛隊行事に対し参加（諸会議等の出席 参照）

⑪飲食店マップの作成事業協力

第一特科群銃剣道大会等に対し美幌食堂組合と共に町内コンビニ・飲食店掲載のマップを作成し自衛隊に寄贈。

⑫美幌町収入証紙元売り事業

美幌町ごみ有料化に伴い、美幌町一般廃棄物処理手数料の収入証紙元売りの指定を受け、指定ゴミ袋の取り扱いを行なった。

取扱店	62店			
取扱高	100	11,107袋	2,221,400円	(66,642円)
	200	21,135袋	8,454,000円	(253,620円)
	300	14,500袋	8,700,000円	(261,000円)
	400	17,408袋	13,926,400円	(417,792円)
	250円証紙	470枚	117,500円	(3,525円)
	500円証紙	540枚	270,000円	(8,100円)
		合計	33,689,300円	(1,010,679円)

⑬会員サービス事業の実施

- ・商工会議所会員並びに従業員の福利厚生事業の一助として各種共済制度、所得補償制度、PL保険制度、医療共済制度や共通優待サービス事業を実施した。
- ・JANメーカーコード登録申請業務及び容器包装リサイクル化委託申請業務を実施した。

⑭幌高等学校「インターンシップ」事業の支援

勤労や職業観の理解の深化を図り、コミュニケーション能力を養い、地域産業についての理解や地域社会に貢献できる人材育成を目的とする「就業体験」事業の支援を行った。

日程	平成23年7月	農業科	第2学年	47名
	平成23年10月	普通科	第2学年	39名
受入企業	31事業所			

⑮役員・議員に対するFAX通信事業

号数	発行日	掲載事項
131	23. 4. 22	美幌町における景気動向調査報告書
132	23. 7. 1	新規学卒者の雇用について
133	23. 7. 21	美幌町における景気動向調査報告書
134	23. 10. 19	美幌町における景気動向調査報告書
135	23. 10. 26	新規高卒者の採用枠拡大についてお願い
136	23. 12. 22	年末年始業務のお知らせ
137	24. 1. 23	美幌町における景気動向調査報告書
138	24. 3. 22	お知らせ

⑯びほろ納涼花火大会の開催

開催日 平成23年8月12日（金）
 場 所 美幌小学校グラウンド
 内 容 ふるさと盆踊り終了後、納涼花火大会の開催。

⑰親睦事業の開催

・会員職場親睦ゴルフ大会
 日 時 平成23年8月6日 12時スタート
 会 場 北見ハーブヒルゴルフクラブ
 参加者 16チーム 64名

⑱美幌町未来を拓くみちの会事業支援

まちづくりの観点から、今後の美幌町の道路のありかたを調査研究する事業を実施した。
 北見市長・網走市長特別対談
 「高速道路はオホーツクをどう変えるか」～高速道路を活用した地域戦略～
 日 時 平成23年6月20日
 場 所 ホテル黒部

⑲美幌ふるさと祭り事業支援

美幌町手作り出店実行委員会を編成し、暴力団の関係する露店を排除し、町民参加による手作り出店を推進し、美幌ふるさと祭りを実施した。
 実施日 平成23年9月4・5・6日
 場 所 神社通り

⑳東日本大震災への対応

・義援金の募金活動実施（4月30日まで）
 義援金総額7,153,543円を美幌町社会福祉協議会を通じ日本赤十字社へ。
 ・北海道商工会議所連合に200,000円を寄付。委託先の日本商工会議所を通じ、被災地県商工会議所連合会に贈呈。

②青年部活動

1. 会 議

(1) 通 常 総 会

- 1) 日 時 平成23年5月25日 午後9時
場 所 美幌グランドホテル
議 題 ① 平成22年度事業報告並びに収支決算報告について
② 創立30周年記念事業特別会計収支決算報告について
- 報告事項 ① 新会員紹介
② 賛助会員入会報告
③ 平成23年度「YEGが創る夢ある北海道会議」へのメンバー登録
④ オホーツクコネクトv2 (SNS) 活用による情報共有について
- 2) 日 時 平成24年 3月28日 午後7時
場 所 肉の割烹 田村
議 題 ① 平成24年度事業計画案並びに収支予算案について

(2) 臨 時 総 会

- 1) 日 時 平成23年12月10日 午後6時30分
場 所 居酒屋 加賀屋
決議事項 ① 平成24年度役員予定者選出について
報告事項 ① 美幌町民新年交礼パーティーについて
② 2012びほろ冬まつり寒中焼肉実施について
③ 第31回 全国大会 越中富山大会のお知らせ

(3) 役 員 会

- 1) 日 時 平成23年5月20日 正午
場 所 美幌グランドホテル
議 題 ① 総会に付議する事項
- 2) 日 時 平成23年6月29日 午後7時
場 所 美幌グランドホテル
議 題 ① 7月定例会について
② 素敵な出会い交流パーティーの開催について
③ 網走YEG8月例会について
④ 北海道YEG理事会(第1回)及び北海道会議(第2回)について
- 3) 日 時 平成23年10月6日 午後7時
場 所 美幌グランドホテル
議 題 ① 平成24年度会長予定者選出並びに臨時総会日程について
② 素敵な交流パーティー開催について
報告事項 ① 留萌商工会議所青年部設立20周年記念式典・祝賀会
② 第29回全国会長研修会やまがた米沢会議
③ 北海道ブロック大会及び「さっぽろオータムフェスト」参加報告
- 4) 日 時 平成23年12月1日 午後7時
場 所 美幌経済センター
議 題 ① 平成24年度役員予定者について
② 臨時総会日程について
報告事項 ① 素敵な出会い交流パーティーについて

- 5) 日 時 平成24年3月23日 午後7時30分
 場 所 居酒屋 加賀屋
 議 題 ①平成24年度事業計画(案) 収支予算(案) について

2. 諸会議等の出席

諸 会 議 名	開催年月日	参加者名	開催地
美幌観光物産協会理事会及び総会	23. 04. 20	松浦会長	グランドホテル
恵庭 YEG との懇談会	23. 06. 24	松浦会長 他	経済センター
美幌町暴力追放推進協議会総会	23. 06. 29	長谷川副会長	しゃきっと
道東地区協議会	23. 08. 06	松浦会長	帯 広 市
第 24 回 北海道ブロック大会恵庭大会	23. 09. 17	松浦会長 他	恵 庭 市
冬まつり企画委員会	23. 11. 17	和田監事	役 場 別 館
留萌商工会議所青年部創立20周年記念式典	23. 11. 26	祝電	留 萌 市
冬まつり実行委員会	23. 11. 28	松浦会長	役 場 別 館
美幌観光物産協会理事会(第2回)	24. 02. 01	松浦会長	青 葉 荘
道東地区協議会(第4回)	24. 02. 23	松浦会長他	網 走 市
美幌ローターアクトクラブ創立40周年記念式典	24. 03. 03	松浦会長	グランドホテル
交流パーティー実行委員会(1回)	23. 10. 12	大友委員長 他	グランドホテル
交流パーティー実行委員会(2回)	23. 10. 28	大友委員長 他	グランドホテル
交流パーティー実行委員会(3回)	23. 11. 07	大友委員長 他	グランドホテル
交流パーティー実行委員会(4回)	23. 11. 21	大友委員長 他	グランドホテル
美幌ブランド全体部会会議(第1回)	23. 04. 25	長谷川委員長他	経済センター
美幌ブランド全体部会会議(第2回)	23. 06. 22	星 委員	天 上 天
美幌ブランド全体部会会議(第3回)	23. 12. 13	長谷川委員長他	加賀屋ほか
美幌ブランド全体部会会議(第4回)	24. 03. 13	長谷川委員長他	経済センター
美幌ブランド全体部会会議(第5回)	24. 03. 18	弥三谷 委員	しゃきっと
美幌ブランド豚醤油試作品仕込作業	23. 05. 17	長谷川委員長他	北 見 市
美幌ブランド豚醤油試作品仕込作業	23. 06. 07	長谷川委員長他2	北 見 市
美幌ブランド豚醤油開発部会(第2回)	23. 05. 17	長谷川委員長	天 上 天
美幌ブランド豚醤油開発部会(第3回)	23. 08. 24	長谷川委員長他3	天 上 天

美幌ブランド豚醤油開発部会（第4回）	23.11.15	長谷川委員長他2	天 上 天
美幌ブランド豚醤油開発部会（第5回）	24.01.06	長谷川委員長他1	加 賀 屋
美幌ブランドバーガー普及部会（第1回）	23.05.26	井倉直前会長	経済センター
美幌ブランドバーガー普及部会（第2回）	23.07.26	井倉直前会長	スパ イラボラトリー
美幌ブランドバーガー普及部会（第3回）	23.08.25	星 委員	スパ イラボラトリー

3. 事 業

(1) 定 例 会

- 1) 日 時 平成23年6月17日 午後7時30分
場 所 美幌経済センター
内 容 6月定例会「キャップ選別作業」「オホーツクコネクト使用方法」
出 席 者 11名
- 2) 日 時 平成23年7月17日 午前10時
場 所 美幌和牛観光祭り会場
内 容 7月定例会「美幌観光和牛まつり体感家族例会」
出 席 者 13名
- 3) 日 時 平成23年8月21日 午前10時
場 所 網走市呼人トレーニングフィールド
内 容 8月定例会「網走 YEG 合同例会」
出 席 者 4名

(2) 第25回会員親睦ボウリング大会

日 時 平成23年5月25日午後6時15分～
場 所 美幌グランドホテル・ボウリング場
参加チーム 16チーム（48名） 優 勝 美幌商工会議所 A チーム

(3) 美幌豚バーガーテスト販売

日 時 平成23年7月17日（日）美幌和牛観光祭り会場
参加者 弥三谷和貴・星 哲也 販売数 200個（完売）

(4) 歓迎スポーツ合宿看板設置（期間：平成23年7月25日～8月31日）

(5) 美幌国際交流パーティー・若人との交流会

日 時 平成23年8月26日 午後6時
場 所 美幌グランドホテル
参加者 佐藤雅和・坂本美紗・大沼 泰・中川英保・松浦和浩・和田 隆
星 哲也

(6) さっぽろオータムフェスト美幌豚バーガー販売

日 時 平成23年9月16日～20日 午前10時から18時まで
場 所 札幌市大通り公園西8丁目会場美幌観光物産協会ブース
参加者 長谷川浩一・大野 江二・弥三谷 和貴・星 哲也
販売数 600個（完売）

(7) 第8回 素適な出会い交流パーティー

日 時 平成23年11月26日(土) 午後7時

場 所 美幌グランドホテル

参加人数 男性34名 女性32名 計66名

(8) 平成24年 美幌町民新年交礼パーティー

日 時 平成24年1月4日 午後6時

(9) エコキャップ回収推進事業

推進PR 美幌観光和牛祭り(7/17日)・美幌町民新年交礼パーティー(1/4)

回収箱 14箇所に設置

回収量 約1,000キロ

(10) 2012 びほろ冬まつり寒中焼肉パーティーの実施

日 時 平成24年2月5日(日) 冬まつり会場(家畜市場跡地)

内 容 寒中焼肉券300枚完売、ホルモン・ジギスカン各50袋完売

(2) 意見活動

○第91回東北海道商工会議所連絡協議会提出(5月13日)

○平成23年度自由民主党移動政調会提出(11月5日)

○平成23年度松木代議士秋季地域政策懇談会提出(11月26日)

税制改正について

道内経済は、個人消費の低迷、民間設備投資や公共事業の削減等、依然として厳しい状況が続いている。

こうした厳しい経営環境下、中小企業者はその打開に向け全力で取り組んでいる。

国においては、中小企業者に対しあらゆる支援強化の対策を講じ、誠に心強い限りではあるが、一日も早くこの危機を脱し、経済に活力を取り戻すには、より一層国の支援が必要である。

については、消費の拡大を図り、景気浮揚及び中小企業の経済安定化のためにも、次の事項について要望いたします。

記

1. 法人税法の改正

(1) 税率の更なる引下げおよび適用所得金額の引き下げ

(2) 交際費等の損金算入規制の撤廃

(3) 特定同族会社の役員給与の一部損金算入規制の撤廃

2. 各種所得控除の堅持

3. 定率減税の実施

4. 消費税率の据置き

外形標準課税資本金1億円以下の法人に対する導入反対について

景気が低迷しているさなか、更に雇用や経済に重大な悪影響を与える、法人事業税への外

形標準課税が平成15年度税制改正により、平成16年度から資本金1億円超の大企業に適用されました。

外形標準課税は、所得以外の賃金をはじめとする付加価値部分や資本金に対して課税されることから、大半の法人で税負担が増加致しております。

しかし、多くの問題を含む外形標準課税が今後1億円以下の中小企業に対し課税対象が拡大されることのないよう要望いたします。

女満別空港の就航体制の整備について

女満別空港は、本州、道央地域を結ぶオホーツク地域における重要な空の交通手段として産業経済の発展、観光振興はもとより文化・スポーツ交流など地域社会の発展に重要な役割を果たしている。

現在、同空港は道内の新千歳、丘珠と、道外では東京、名古屋と結ぶ直行便、大阪（関西）の季節便が就航、平成20年11月にILS36（ILS双方向化）が供用開始され離着陸の安全性向上が図られるなど道東観光の拠点、またビジネス客の交通手段として利用されています。

しかし、現在、オホーツク管内への観光客の減少、運航体制の縮小などに加えて、東日本大震災と福島第一原発事故の影響もあって国内外からの観光客が減少し乗降客は年々下降を辿っている。

今後、道内外からのビジネス客、観光客の利用増加を図り、さらに東南アジアなど海外から国際チャーター便を誘致するなど利用客の増加を図るため同空港の就航体制の充実、整備が望まれます。

そこで、当地方の経済活性化を推進していくために、次の事項について強く要望致します。

記

1. 東京便の女満別始発時間帯の繰上げ
2. 季節運航路線の通年運航化
3. 国際チャーター便に対応したC I Q施設の整備およびC I Q職員の常駐配置
4. 主要都市とを結ぶ新規路線の開設推進

北海道横断自動車道の整備促進について

北海道は広大な土地に都市が点在する広域分散の地域構造を持ち、移動手段の大部分を自動車に依存しているが、中心都市などを連絡する高速ネットワークの整備は遅れている状況にある。更に、道東地域は広域分散型の地域構造がより顕著であるとともに、農水産物が全国シェアの上位に位置する我が国有数の食料基地であり、更なる効率的な輸送と安心・安全な農水産物の輸送が必要不可欠であります。

また、都市間移動の所要時間が長く、地方センター病院の対象面積は他の地域と比べて広がっているが、高齢化社会を迎え、最近の医師不足による地域医療への住民不安が顕在化する中で、救急搬送並びに日常の受療動向とも第三次高度医療施設が存在する中核都市へ依存する傾向が強まっており、住民は遠距離の移動で大きな負担を強いられています。

加えて、当地域は国内有数の地震発生地域であり、大規模な災害が発生した際には、国道の寸断による救急車両の不通や生活関連物資輸送が止まるなどの影響が生じています。

については、地域基幹産業の競争力を高め、地域医療の格差是正を図り、災害から地域の生命線を確実に確保するために、高規格幹線道路をはじめとする高速交通ネットワークの整備

が着実に促進されるよう要望致します。

特に北海道横断自動車道は、点在する道東の中核都市を効果的に結びつけ、道東と道央を直結させる大動脈として地域の産業・経済の発展、円滑な物流、観光振興などあらゆる面で多大な効果をもたらすことが期待されており、交通ネットワークは全線が開通することにより本来の目的が達成されることから、早期完成を強く要望致します。

記

1. 基本計画区間「北見－北見市端野町」間（国幹道に並行する一般国道自動車専用道路「北見道路」）の早期完成
2. 予定路線区間「北見市端野町－網走市」間の効率的・効果的整備の促進、特に、女満別空港まで直結する「美幌バイパス」と「北見道路」を結ぶ「北見市端野町－美幌町」間の早期整備

J R石北本線「旭川－網走」間的高速化及び車両の快適性向上について

オホーツク地域は道央及び道北地域から遠隔な位置にあるため札幌始め主要都市を結ぶ交通手段の高速性を高めることが地域振興の上で欠くことのできない要件であります。

J R石北本線はオホーツク地域を縦貫する重要な交通手段として地域住民、観光客に利用されているが、現在「旭川－網走」間を走行する性能の高い列車でも時速約95km/hと「旭川・札幌」間の約130km/hに比べると速度に格段の差があります。

所要時間も特急列車で「札幌－旭川」間136.8kmを1時間32分で運行しているのに対して、「旭川－網走」間237.7kmを諸条件が異なるとしても3時間41分も要しており、また函館、帯広方面を走行する列車と比べ乗り心地の面で劣っています。

このような状況から、オホーツク地域における地域住民の交通の利便性を高めるために強く要望致します。

記

1. J R石北本線「旭川－網走」間的高速化
2. 快適で乗り心地の良い車両へのグレードアップ

道東縦貫道路の整備促進について

高規格幹線道路との連携による全国的な「交通ネットワークの形成」の一環として、道内においても地域高規格道路の整備が進められています。

広大な面積を有する東北海道圏域においては、都市間を有機的に結ぶ道路網の整備が重要な課題であるが、北海道横断自動車道と連携した地域集積圏の拡大や、広域物流拠点である重要港湾、広域交通拠点としての空港などと連結する高速交通ネットワークを形成する上で、地域高規格道路の重要性が高まっていることから強く要望致します。

記

1. 道東縦貫道路の計画路線への早期昇格（美幌町－標茶町）

道路整備に必要な予算の確保について

道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律等の一部を改正する法律が平成21年4月30日に公布・施行され、平成21年度から道路特定財源はすべて一般財源化されたが、広大な面積を有する北海道においては、分散する拠点都市を有機的に結合させ、立ち遅れている産業構造の高度化を推進させるためにも交通ネットワークの整備は急務を要する課題であるといえます。

つきましては、道路整備が速やかにかつ確実に進められるよう予算の確保を強く要望します。また、地域格差の是正、生活者重視、緊急対策等の視点から地方の活性化、高速道路や高次医療施設へのアクセスの強化、冬期道路の維持管理及び改善、道路防災対策、交通事故対策などのための必要な道路整備の施策が盛り込まれた「道路の中期計画（北海道版）」が確実に実行されるよう重ねて強く要望致します。

記

1. 分散する拠点都市を有機的に結合し、立ち遅れている産業構造の高度化を推進させるための交通ネットワークの整備
2. 広い北海道の「地域の命をつなぐ緊急医療」のための高速道路網をはじめとした道路整備
3. 北海道の厳しい冬の期間でも、子供たちやお年寄りたちが安全・安心して生活できるための道路整備

社会保険料率の軽減並びに適用拡大の反対について

平成15年4月から、健康保険や厚生年金保険の保険料は負担の公正化を図るため、月額報酬と賞与について同率の保険料を賦課する「総報酬制」へと切り替わりました。

そのことにより、平成15年3月以前の賞与に対する保険料率は健康保険、厚生年金保険事業主、被保険者合計で1000分の18が1000分の217.8と10倍以上の負担増となりました。

さらに、国は2017年には年収の18.3%（労使折半）とまで上げるべく2004年10月から厚生年金保険料を段階的に引き上げてきております。

この保険料の引き上げは企業の費用負担増となり経営を圧迫するものであります。

また、厚生労働省の年金制度改革案では、パート労働者等非正規労働者の厚生年金適用拡大を促すべく、無年金・低年金対策と位置づけ適用条件となる労働時間を現行の「週30時間以上」から「週20時間以上」に広げることが有力となってきている。

これが実施されれば地域経済を支える中小企業にとって過大な負担となり、道内の景気低迷に拍車をかけるものである。

ついては、景気浮揚及び消費の拡大を図るためにも保険料の軽減を実現するとともに、パート労働者等非正規労働者の適用拡大が将来にわたって実施されないよう強く要望する。

WTO農業交渉と経済連携協定（EPA）の日本提案の適切な対応の実施について

網走地域が魅力ある農村環境を維持し、国民の安全な食料を安定供給するとともに、管内農業・農村の持続的な発展を図っていくためには、WTO・EPAに当たり、多様な農業

の共存を目指す我が国の主張が適切に反映されるよう、国民合意の下、確固たる姿勢で粘り強く交渉に望むことを要望致します。

記

1. WTO農業交渉に当たっては、農業・農村の多面的機能の発揮や食料安全保障の確保を図るなど、日本提案の実現を目指すというこれまでの基本姿勢を堅持すること。
2. EPA交渉に当たっては、多様な農業の共存と食料安全保障の確保が図られるよう、関税撤廃の例外品目を設定するなど適切に対応すること。

新規就農者（新規学卒・Uターン就農・新規参入）育成に向けての助成制度の充実について

地域基幹産業としての農業が品目横断的経営安定対策導入で、次代の担い手に展望が開けるとの期待感があつたにもかかわらず、結果的には所得の大幅な減収となり将来的にも離農や後継者問題の不安が膨らんできています。

単にこれは農業だけの問題ではなく、地域経済を支える基幹産業であり農業の発展なくては地域経済をはじめとする活力は語れません。

ついては、今後の農業活性化のためにも新規就農者（新規学卒・Uターン就農・新規参入）育成に向けての助成制度を充実するよう強く要望する。

北海道における自衛隊体制の堅持について

北海道は我が国の防衛戦略上、極めて重要な拠点として位置付けられ、自衛隊創隊当初から第一線部隊が配置され、国土防衛や地域の安全と安定に大きな役割を果たすとともに、国際的な安全保障環境の構築に寄与してきました。

しかしながら、平成17年度以降、道内の陸上自衛隊は大幅な削減が行われ、総合力からみた北の守りの低下や地域の安全と安定、更には地域の経済・社会に大きな影響を及ぼしています。

東北海道においては、第5旅団並びに第2師団遠軽駐屯地が所在し、北方防衛の最前線に立ってきたが、近年はスリム化の要請に対応しつつ、機動性と即応性を兼ね備えた精強化部隊として高い練度を維持する努力を続けられ、国際貢献活動の主力ともなっている。

加えて、地域とともに歩む自衛隊として地域住民との相互信頼の絆も厚く、経済、社会、文化などさまざまな面でかかわりを持ち、地域の発展に大きく貢献しています。

昨年12月に決定された新防衛計画大綱並びに本年度から実施の中期防衛力整備計画では、人員の大幅な削減は当面回避されたものの、年式の古い戦車多数の退役により戦車部隊の削減が憂慮されるなど、北海道における人員減への懸念は払拭されていません。

一方で、北海道は部隊練成に不可欠な大規模演習場が数多く配置されるなど、防衛能力を向上していくための環境が整っており、同大綱の基本方針である、高度な技術力も持ち即応性や機動性、柔軟性を兼ね備えた動的防衛力の構築を進める上でも、北海道の自衛隊は更に重要な役割を担って行くものと確信しています。

ついては、北日本地域の安定的な戦略環境と動的防衛力の構築や地域の安全と安定、更には自衛隊創隊以来半世紀以上の長きにわたり、国の防衛政策の推進に積極的に協力してきた北海道の役割や道内に所在する防衛財産の価値を十分に認識され、北海道における自衛隊の体制を堅持されるよう強く要望致します。

国土交通省北海道局並びに北海道開発局の存続について

北海道は明治以来、わが国の食料やエネルギー資源などの供給地として位置付けられ、政府は国家的見地から北海道開発に積極的な投資を行ってきました。

現在は、北海道開発法に基づく北海道総合開発計画を企画・立案し、推進する体制として、「国土交通省北海道局、北海道開発局、開発建設部」という組織構成により執行されているが、積雪寒冷や広域分散型社会を反映した北海道特例の継続、公共事業予算の一括計上などの施策とあわせ、総合的な開発の枠組みが有効に機能しています。

これらの枠組みによって、例えば、食料の生産基盤である農地や漁港、関連施設などを計画的に整備し、それらを運ぶための道路や港など物流基盤を有機的に構築することで、国益にかなう産業基盤の一体的整備が図られるとともに、地域住民の安全・安心な暮らしと産業を守る治水・防災や生活基盤づくりに大きな役割を果たしています。

こうした中、国土交通省の組織見直しに関して、国家行政組織法に基づく局の総数規定から、北海道局の廃止・統合議論が浮上したことで、地域には危機感が広がっています。

北海道局は北海道開発を一元的に担当する局として、財政当局をはじめ各省・各局と対等な立場で調整する機能を有し、全国一律の観点で政策を所管する国土交通省他局とは性格を異にしており、廃止あるいは統合されることになれば、一括計上権や北海道特例が継続されたとしても、北海道開発の枠組みの弱体化・形骸化が危惧されるところであります。

また、北海道開発局についても近年、行政の無駄の排除、公務員数削減の観点から存廃議論が続き、ここへ来て地方整備局など出先機関の権限委譲と同一視した見方が広がるなど、国土交通省と農林水産省が所管する国の公共事業の実施を一元的・総合的に担う機関としての本質が軽んじられていることは、甚だ遺憾と言わざるを得ません。

地球的規模で深刻化する資源・食料の獲得競争や地球温暖化問題など国家が優先して取り組むべき課題の解決に向け、正に国家的見地に立った北海道開発の推進が強く求められている中で、我々北海道民は今こそフロンティアスピリットをもって使命に応え、「日本の食料供給基地」として食料自給率の向上に寄与し、国の発展に貢献して行く所存である。

しかしながら、国土面積の22%を占める北海道の国家的開発を自治体の財政負担によって支えて行くことは極めて困難と言え、他地域と比べ非常に立ち遅れている高速交通・物流ネットワークなど必要とされる社会資本整備や1次産業の振興、さらには北方領土隣接地域の振興などの面で、北海道局並びに北海道開発局への期待は誠に大きなものがあり、「新成長戦略」におけるわが国の成長に貢献するための北海道の位置付けなどを度外視した、拙速な議論は避けるべきである。

については、北海道総合開発体制の国家的使命を確認するとともに、国土交通省北海道局並びに北海道開発局の存続を強く要望致します。

TPP交渉（環太平洋経済連携協定）に対する適切な対応について

昨年11月9日、政府は「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定し、この中でTPP交渉（環太平洋経済連携協定）については、「関係国との協議を開始する」と表明しました。

我が国は、すでに世界で最も開かれた農産物純輸入国であり、食料自給率は他の先進国と比較して著しく低下しています。

関税が撤廃された場合の影響額について、北海道農政部が平成20年度農業産出額により試算されたものでは北海道農業への影響額は5,563億円、また北海道水産林務部による平成20年度漁業生産額試算では漁業生産への影響額が530億円とされ、関連産業や地域経済への影響額を加えると2兆1,254億円に及ぶとされています。

特に、東北海道は第1次産業を主に、関連する食品製造業や農業機械の営業所、農産物を運搬する輸送業者など農業関連産業の従事者も多く、地域の崩壊を招くことは明白であります。

また、道東地域のみならず北海道内の産業全体が壊滅的な打撃を受ける大問題であり、国民の大多数が望む食料自給率の向上に逆行することも明らかであります。さらには、関税撤廃の影響が大きい農業、食関連産業が国際競争に耐え得る対策を講じることが必要であることから、現段階でのTPP交渉参加は時期尚早であり、政府においては、適切に対応されるよう強く要望致します。

東日本大震災に係る支援策の強化について

3月11日に発生した東日本大震災により、東北地方をはじめとする東日本地域で多くの尊い人命が失われ、産業・生活基盤にも甚大な被害が発生し、政府は全力を挙げて被災地支援に取り組まれるとともに、官民による国を挙げた支援活動や経済復興への努力が続いています。

未曾有の大震災は、わが国全体の経済活動に深刻な影響を及ぼしており、東北海道においても水産業などへの直接的な被害に加え、物流や生産の停滞、観光客の大幅減少、消費の落ち込みなどにより、あらゆる業界・企業の経済活動や雇用に多大な影響を与えています。

このため、政府や北海道などにおいては、被災中小企業者に対する支援措置に加え、特別貸付制度の創設や雇用保険制度の柔軟な運用など各種支援策の実施、海外観光客の回復に向けた活動などの対策を講じられているところであります。

しかしながら、風評被害を含めて震災の影響があまりにも広範かつ甚大であることから、中小企業に対する一段の支援策が求められる状況にあり、資金繰り悪化に対応した災害貸付や信用保証枠の拡大を図るなど、中小企業者の機能回復に向けた各種支援策や経済対策を幅広く展開されるよう強く要望するものであります。

また、各地で生活再建に向けた仮設住宅の建設やインフラ復興が急がれているが、一方で建設資材を全国に供給してきたメーカーなども被害を受け、被災を免れた地域の事業所では供給量を確保するためフル生産が続いています。

国の調査によると、建設資材について必要な供給量は確保されているとしているが、物流機能が概ね回復した後も、建材業者や建設現場では、特に合板やグラスウールなどの入手難が続き、仕入れ価格が高騰するなど企業活動に支障をきたし、予定した住宅建築を先送りする事例も多数発生しています。

広範にわたる震災の影響から、わが国経済を再建させるためには、国民、事業者が一丸となって復興を進め、健全な経済活動を継続して行くことが求められており、建設資材をはじめ、各種原材料、生活関連物資などの安定供給対策を講じるとともに、便乗値上げの監視を強化し、必要に応じて適切かつ厳格な指導を行うよう強く要望致します。

○美幌町商工業の振興並びに育成のため（平成23年12月26日）

平成24年度の美幌町の予算編成にあたり美幌町商工業の振興並びに育成のため、次の事項について特段のご高配を賜りますよう茲に要望致します。

美幌町長 土谷 耕治 殿

要 望 事 項

1 商工会議所運営に関する予算要望について

- (1) 商工会議所中小企業相談所運営費補助金
- (2) びほろ納涼花火大会補助金

応分な金額
750,000円

2 陸上自衛隊美幌駐屯部隊の充実整備について 理 由

本町は、昭和26年旧海軍航空隊跡地に当時の警察予備隊美幌部隊が駐屯し、今や全国に誇り得る陸上自衛隊の精鋭部隊の駐屯する町であります。

しかしながら、平成22年閣議決定された防衛計画の大綱と本年度実施中の中期防衛力整備計画では道内の陸上自衛隊の大幅減は回避されましたが、南の方の対処に重点を移していくのが基本的な流れでもあるので、自衛隊組織の見直しによる部隊の統廃合等が行なわれた場合、隊員削減が否めない状況でもありますので、引続き美幌町当局の美幌駐屯部隊の充実整備と常設訓練施設等の候補地活動を要望する次第であります。

3 公共事業の確保と早期発注方要望について 理 由

個人消費の低迷、民間設備投資の減少、長年にわたる公共事業の削減等で景気は依然として厳しい状況の中にあり、こうした状況がさらに続けば当地方経済の活力も著しく低下・疲弊します。

昨今の地方自治体の財政状況も極限状態であるとは存じますが、地域経済活性化に向け下記事項について特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

- (1) 建設工事量の安定的確保
- (2) 「美幌町住宅リフォーム促進助成制度」上限額の増額並びに早期受付開始

4 町産品愛用及び町内優先購入方要望について 理 由

当所では、地元産品愛用と町内優先購入の促進を美幌町連合商店会と協力し積極的に活動を展開しているところであり、美幌町におかれましても特段のご支援を賜りますよう要望する次第であります。

また、例年事業を展開しております各商店会や組合等で実施する地元消費拡大のためのセールやイベント等に対しても、引続き美幌町中小企業振興条例に基づく助成金を賜ります様特段のご配慮を併せて要望する次第であります。

5 町内消費拡大事業に対する支援について

個人消費の拡大と購買力の流出防止を狙い、美幌商工会議所・美幌町連合商店会・協同組合スマッピーカードびほろで実行委員会を編成し21年度より実施しております販売促進活動も、引続き24年度で昨今の厳しい経済状況を鑑み企画しておりますので、美幌町におかれましても引続き商工業の振興、景気回復のため特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

6 観光振興計画策定に伴い今後の事業展開の推進について 理 由

本町には、阿寒国立公園の景勝地の一つとして「天下の絶景 美幌峠」を有しておりますが、現状は通過型観光であります。

そうした観光客のニーズに対応するため、美幌町の自然環境や地理的利便性を最大限に生かし、滞在型観光を目指し本町の観光活性化に向けた観光振興計画の策定に伴う各種事業の早期展開に向けて、美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

また、美幌観光物産協会と共に取組んでおります特産品の開発に向けましても観光並びに地域活性化に向け鋭意努力いたしますので特段のご配慮を併せて要望する次第であります。

7 都市基盤整備事業の推進について 理 由

本町の都市基盤整備並びに交通安全等の観点から、次の事項について特段のご配慮を賜りますようお願いする次第であります。

- (1) 花見橋との連結道路網の整備促進
- (2) 国道の整備促進
 - ①「美禽橋並びに美幌橋の架け替え」
 - ②「国道334号線美斜線」
 - ③「国道243号線基点の交差点改良」
 - ④「案内標識看板の改良」
- (3) 町道1号線と国道240号線の交換変更
- (4) 高規格幹線道路（北見市－高野、女満別空港－網走）の整備促進
- (5) 道東縦貫道路（美幌－標茶）の計画路線への早期昇格への促進
- (6) 道々の整備促進
 - ①「駅前停車場線の改良」
- (7) 町道の整備推進
- (8) 歩道の整備（国道・町道）
 - ①バリアフリー化、植栽の整備、改築工事、街路灯・防犯等の整備
- (9) 公共交通機関のアクセス網の促進
 - ①女満別空港発着バスの美幌乗り入れについて
 - ②都市間バス対策について

8 公共施設の建設・利活用並びに民間を含めた検討委員会の設置について 理 由

様々な公共施設が、本庁舎を含めて老朽化していると思われませんが、町民の利便性に配慮し機能を連携させ、生活弱者や高齢者にやさしく暮らしやすい生活環境が提供できるような公共施設に向けて、財政環境が厳しい中ではありますが一日でも早く民間との共同による建設検討委員会の設置と現在の公共施設の利活用についての利活用検討委員会の設置を次の事項について特段のご配慮を賜りますようお願いする次第であります。

- (1) 美幌みどりの村周辺の植栽化
- (2) 町民会館老朽化による公民館の建設について
- (3) 他の老朽化した建物の検討

9 美幌高等学校の学習環境等の充実整備促進について 理 由

本年4月美幌町内における高校2校の一斉統合により、新設美幌高等学校としてスタートしたところでありますが、これからの美幌町の次代を担う人材育成に向け美幌町に相応しい高等学校となるよう学習環境等の更なる充実と今後の少子化傾向に向けての生徒募集対策等、美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

10 美幌町への移住・定住の積極的推進について 理 由

北海道内で、団塊世代を中心とした移住の受け入れに積極的な市町村が、「北海道移住促進協議会」を設立し、北海道の魅力発信や移住体験の場を提供するほか、移住相談窓口を設置しており、美幌町におかれましても移住相談ワンストップ窓口の設置、インターネットによる情報提供がなされておりますが、今後も興味のある方々のニーズを把握し、移住・定住に

対し積極的な施策に取り組むよう特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

また、今後の美幌町を担うであろう若者の定住促進と住宅投資を促す意味でも、地元企業への発注による住宅建設に対し持家建設奨励金等の制度の新設を併せて要望する次第であります。

1 1 TMO 計画事業の支援方要望について

理 由

中心市街地の活性化取り組みについては、旧法で町に認定を受けた TMO 構想事業が、平成 18 年 6 月の法改正により事業手法を再開発事業として公共施設（文化ホール機能）を取り入れた「にぎわいの駅整備事業」構想を平成 20 年 2 月にまとめました。その後、文化ホールの設置については諸般の事情により、他の公共施設へ変更することとなり、種々検討を行なっているところであります。

中心市街地の活性化は、単に商店街を活性化することではなく、まち全体のコンパクトなまちづくりを進めるマスタープランのもと、居住、公益施設、交通などの要素を中心に、生活拠点として総合的に中心市街地のまちづくりを進めることであることから、次の事項につきまして美幌町の特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- (1) にぎわいの駅整備事業への支援
- (2) 空き店舗活用事業の支援
- (3) 空き店舗解体に伴う補助制度の創設

1 2 ケア付き福祉公営住宅の建設について

理 由

美幌町には知的・精神障害者（児）等が 250 名在住、その親族も高齢化に伴い親亡き後の当事者たちの地域生活支援について、平成 18 年 2 月公営住宅法施行令の一部を改正する政令により公営住宅の単身入居が認められるようになりましたが、単身で生活できないケースも多々あります。

については、美幌町の将来に向けての福祉を中心とした街づくり並びに移住・定住にも繋がることとなると思いますので、そうした単身で生活できない知的・精神障害者（児）等に対する、ケア付き福祉公営住宅の建設に美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

1 3 新規就農者受入の居住環境の整備について

理 由

農業で生計を立てたいと意欲ある新規就農者（就農研修者）が将来就農することにより定住促進と地域活性化や既存農家の刺激になり更なる農業振興が図られ、活力ある町づくりに寄与することが期待できる場所にありますので、受入に対し宿泊施設等の整備環境を行うよう美幌町の特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

1 4 介護支援者の人材育成並びに教育環境の対応について

理 由

医療技術の進歩や設備の充実により、国民の平均寿命は増加の傾向にあります。平均寿命が延びることは良いことですが、高齢者にとって老化に伴う体力の低下は免れず、介護サービスの需要は増加の一途であります。

2000年に介護保険制度を導入し、それまで行政が行っていた社会福祉事業を民間で行えることとなり、今では美幌町でも豊富な介護・福祉サービスの提供が可能となっています。

しかし、実際には現場で働く介護者が不足しているのが実情であり、そのため介護者 1 人当たりの仕事量が多く、体力的な理由で離職をせざるを得ない、また仕事と報酬のギャップに悩まされてやむなく転職に至るといったケースも多いようです。

さらには、事業所・施設によっては、約3年で人が入れかわるという状況もまれではなく、今では介護職につこうとしている人自体減少傾向にあるようです。

本来、介護者が心身ともにもっと余裕を持って介護に携わり、よりよいサービスを提供することにより、介護を受ける高齢者が少しでも多くの喜びを得ることができる社会こそが本来あるべき姿だと考えますので、介護支援者の人材育成に向け美幌町の特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

○陸上自衛隊美幌駐屯部隊の充実整備について（陸上自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会）

この度の東日本大震災は、東北地方を中心に未曾有の大きな被害をもたらし、防衛省はこれまでで最大となる10万人規模の自衛隊員の災害派遣を決め、北海道内の駐屯地、基地から多くの自衛隊員が派遣され、当駐屯地からも470名の隊員が現地において過酷な状況の中、捜索、救出、生活支援、輸送支援などの活動が続けられました。

また、今回の被災地活動では、原子力発電所事故の対処など、自衛隊でなければなしえない任務が数多くあり、危険を伴う困難な業務を遂行する姿が報道され、国民は頼もしさを実感し高い評価をしているところでもあります。

しかしながら、派遣された隊員及び駐屯地に残った隊員の負担はきわめて大きく、このような大規模災害に対して、主たる任務であるわが国の防衛との両立については、厳しい部分もあったのではないかと推測するところでもあります。

陸上自衛隊美幌駐屯地は、創立以来60年間の永きにわたり、屈指の精鋭部隊として道東防衛の重責を担って頂いております。

また、隊区内10市町の災害時における迅速な対応や各地域での諸行事などに積極的なご支援ご協力を頂いておりますことに、心より深く感謝とお礼を申し上げます次第であります。

さて、平成15年度には第5師団の旅団化に伴い「第5特科連隊第3大隊」がその歴史に幕を閉じ万感の思いで廃止を見届けた次第であります。

また、平成19年度には第11師団が旅団化に改編されるなど急速な部隊の削減が行われたところでもあります。

国においては、平成22年12月に、新たな安全保障環境に対応するため、22大綱を閣議決定しましたが、この大綱に示す陸上自衛隊の編成定数は約15万4千人であり、16大綱に比較いたしますと約1千人の減となります。

しかしながら、平成22年度末の陸上自衛隊の編成定数は16万100人であることから、これからの10年間で常備自衛官で約4千600人を削減することになります。

今後さらに自衛隊組織の見直しによる部隊の統廃合等が行われた場合には、「第6普通科連隊・第101特科大隊」が駐屯する陸上自衛隊美幌駐屯部隊に影響を与えかねないものと大変危惧しているところでもあります。

このような状況にあります。地域を挙げて陸上自衛隊美幌駐屯部隊の充実発展のため一貫してその活動を支え、自衛隊と地域の熱い絆と良好な関係を築き憂いなく任務に邁進シテ頂くよう全身全霊をもって支援し、信義を尽くして参ってきたところでもあります。

こうした自衛隊と共に築いてきた歴史と聞い絆を十二分にご理解頂きますとともに、潜在的な北の脅威に対し、また約230kmにもなるオホーツク海岸線と道東地域の防衛を強固なものにし、道東地域住民の安全安心を確保するために次の事項につきまして、ご配慮を頂きたくお願い申し上げます。

記

1 長距離（800～1,000m）射撃訓練施設の設置

美幌駐屯地には、現在200m射撃が可能な射撃訓練施設が設置されていますが、将来の兵器を見据えた最大1,000mの射撃が可能な射撃訓練施設の候補地として、当町の町有地候補地を活用して頂き、設置候補地として是非ご検討頂きますよう、特段のご高配をよろしくお願い申し上げます。

2 美幌駐屯地の主力部隊の増員、新編部隊の配置及び火砲部門の強化・近代化を要望

近年活性化するロシアの動向に加え、北方領土問題、オホーツクの海岸線の防衛と、北の脅威に対する抑止力の強化を図るため、陸上自衛隊美幌駐屯地の主力部隊である「第6普通科連隊」、「第101特科大隊」、の隊員の増員と施設整備並びに装備の充実を図っていただきますよう特段のご配慮をお願いいたします。

特に、火砲の主力部隊であります「第101特科大隊」につきましては、道東・オホーツク海沿岸の地域に居住をいたしております地域住民にとって、西方重視の傾向にあるなかで、北の脅威に対しての抑止力が無ければ継続した民生安定は保てないものと考えており、現在の施設等の有効活用と恵まれた訓練環境等が存在することから、新編部隊の配置や多連装ロケットシステム等火砲部門の充実整備・強化・近代化などについて、最大限のご配慮頂きたいとお願いいたします。

3 自衛隊の実働訓練施設(特殊教育、冬季訓練)の設置、隊員のメンタルヘルスケア、保養のための施設設置を要望

自衛隊の統合運用体制がスタートしましたが、今回の東日本大震災において自衛隊として初めて、東北方面総監の指揮下で陸・海・空の統合した災害救助活動が実施され大きな成果を収めたことと認識しております。

国の防衛は、十分とは言えない防衛予算の中で、国の防衛や国際平和協力活動あるいは大規模災害対応の任務を負う陸上自衛隊として、広大な矢臼別演習場・然別演習場の中間に位置する美幌駐屯地を活用して頂き、さらに有効な住民感情など、優れた訓練環境や理解ある地域住民をバックに部隊の精強化に努めるため、今後ともこの道東を「キーステーション」として与えられた任務を果たしていくことが「より効果的で実効性がある」と考えています。

今後更に、統合運用の強化を図るため、道東の恵まれた訓練環境と冬季積雪寒冷を活用した自衛隊の実働訓練の候補地として、ご検討いただけますようお願い申し上げます

また、中央には即応集団や市街地戦闘訓練施設が設置されていますが、積雪寒冷も想定した訓練地として美幌町は最適地と考えますことから、当町の町有地候補地を活用して頂き、ゲリラや特殊部隊などに対応した特殊教育訓練や冬季訓練施設、などの設置候補地としては是非ご検討頂きますよう、特段のご高配をよろしくお願い申し上げます。

美幌町は、年間を通じ日照率が高く豊かな自然環境と全国でも数少ない317haの面積を誇る駐屯地及び訓練場は十分な訓練成果が得られる最適地であり、矢臼別演習場・然別演習場にも近いという利便性に富んでいます。

また、今回の東日本大震災では、美幌駐屯地から470名の隊員が派遣され、加重な活動に従事したことによる心身の影響等を考えますとメンタルヘルスケアやカウンセラーなどが受けられる、教育訓練施設と保養施設を兼ね備えた施設整備も重要であると考えているところであります。

このことは、災害派遣ばかりではなく、国際貢献業務派遣隊員にも活用できるものであり、是非、当町の町有地を活用して頂き、四季折々の豊かな自然環境と、4本の国道が通り女満別空港に隣接する交通機関の利便性を活かした施設整備について、特段のご配慮をお願い申し上げます。

(3) 調 査 研 究

A 従業員勤続年数調査

調査年月日 平成23年10月1日～10月22日

調査内容 商工従業員勤続表彰のため

B 景気動向調査

調査年月日 6・9・12・3月（四半期毎）

調査方法 小売・卸売・建設・製造・サービス業の5業種の内、予め選定した企業100社に対し、四半期毎に調査を行なった。

(4) 広 報

A 定 期 刊 行

商工びほろ （年6回 美幌新聞「みつめて」に掲載）

B 不 定 期 刊 行

中小企業相談所だより

C そ の 他

中小企業融資制度のしおり・施策普及啓蒙ボールペン・メモ帳

(5) 証 明 ・ 鑑 定 ・ 検 査

A 証 明

貿易関係・国内取引関係証明 該当なし

営業証明 13件

B 鑑 定 該当なし

C 検 査 該当なし

(6) 各 種 行 事

A 講 師 の 派 遣

a オホーツク食品開発研究フェア2012

日 時 平成23年9月24日

会 場 北見市ホテル黒部

テ ー マ 美幌豚醤油「まるまんま」開発事例

派遣講師 経営指導員補 伊藤 健一

対象者 一般聴講者

B 行 事

a 美幌商工会議所商工従業員表彰式

日 時 平成23年11月22日

会 場 美幌経済センター

被表彰者 表彰・受賞の項参照

b 協賛行事

1. 美幌観光和牛まつり支援

日 時 平成23年7月17日

会 場 網走川河畔公園

2. びほろ冬まつり支援

日 時 平成24年2月5日

場 所 旧家畜センター跡

C 研修派遣

① 日 時 平成23年9月27日～29日

会 場 札幌市

受講者 経営指導員 深 田 裕 二

内 容 人事労務の実務支援研修

② 日 時 平成23年10月11日～13日

会 場 札幌市

受講者 経営指導員補 伊 藤 健 一

内 容 観光資源による地域活性化手法研修

③ 日 時 平成23年12月6日～8日

会 場 札幌市

受講者 経営指導員 河 野 聡

内 容 コミュニティビジネス支援研修

(7) 技術技能の普及検定

A 検 定

a 簿 記

回 次	実施月日	人数	1 級	2 級	3 級	4 級	合計
第 128 回	6 月 1 2 日	受験者数	—	—	2	—	2
		合格者数	—	—	0	—	0
第 129 回	1 1 月 2 0 日	受験者数	—	—	1	—	1
		合格者数	—	—	1	—	1
第 130 回	2 月 2 6 日	受験者数	—	1	2	—	3
		合格者数	—	0	2	—	2

b ワープロ 該 当 な し

c 北海道観光マスター 該 当 な し

B 競 技 会 該 当 な し

(8) 取引紹介（照会を含む）斡旋

国 内 取 引

文章によるもの 0 件

電話によるもの 0 件

窓口によるもの 1 件

(9) 取引紛争の調査、仲裁 0 件

(10) 求人活動の相談指導

会員事業所の新規学卒求人对策として相談窓口となり、一括求人活動を行った。

(11) 経営改善普及事業

A 巡回、窓口、相談事業

イ. 経営指導員の設置月数及び稼働日数 36ヶ月 640日

ロ. 巡回による相談及び指導日数 165日

ハ. 相談及び指導の内容及び件数

相談指導内容	巡回	窓口 (電話を含む)
経営革新	3	0
経営一般	81	22
情報化	557	102
金融	44	165
税務	68	144
労働	78	120
取引	1	0
創業	0	5
環境対策	0	0
その他	500	16
合計	1,332	574

B 講習会等の開催による指導

イ. 集団指導

開催年月日	講題または指導内容	講師の職業及び氏名	回数	人数
H23.7.8	震災後、今こそ考える地域経済のあり方	セゾン投資(株) 渋澤 健他	1	27
H23.10.24	最近のビートとビート糖をめぐる情勢について	日本甜菜製糖(株)美幌製糖所 所長 太田 良知	1	26
H23.11.16	日本の経済を元気にしよう	日本政策金融公庫札幌支店 山崎 政行 税理士 菅原 雅之	1	16
H24.3.26	接遇&マナー研修	(有)エスパスマナーアカデミー 成田 裕美	1	17
集団指導		計	4	86

ロ. 個別指導

開催年月日	講題または指導内容	講師の職業及び氏名	回数	人数
24.2.21 ～ 22	決算個別指導	経営指導員 横山清美 深田裕二 河野聡	2	20
24.3.12	消費税個別指導	税理士 菅原雅之	1	11
個別指導		計	3	31

Ｃ 金融の斡旋

		斡旋延べ 件数 (件)	貸付決定 件数 (件)	斡旋総額 (千円)	貸付決定 総額 (千円)
国金 民融 生公 活庫	一般・特別	7	6	43,900	36,500
	マル経資金	4	4	23,350	23,350
	計	11	10	67,250	59,850
その 他	道制度融資	13	13	228,800	228,800
	市町村制度融資	79	78	516,800	511,800
	その他金融機関	1	1	3,000	3,000
	計	93	92	748,600	743,600
合計		104	102	815,850	803,450

Ｄ 社会保険等の事務代行

労働保険	事業所数	従業員数	
	84	391	
各種共済加入者	小規模共済	倒産防止共済	中退金共済
	237	19	159

(12) 受託事業

小規模企業共済
中小企業倒産防止共済
中小企業退職金共済
労働保険事務組合

中小企業基盤整備機構

〃

勤労者退職金共済機構

労働基準局・北海道商工労働観光部

8. 登 録

(1) 法 定 台 帳

商取引紹介（照会）斡旋に活用した。

- ・作成（又は訂正）年月日 平成23年4月1日～平成23年9月30日
- ・登録業者数 260名

9. 会 館 ・ 事 務 所 等

(1) 土 地

※ 美幌経済センター敷地地積	1,768.04 m ²
① 美幌町有地 無償借受使用	927.23 m ²
所 在 美幌町字仲町1丁目44番1	
② 美幌商工会議所所有地	840.81 m ²
所 在 美幌町字仲町1丁目44番2	(495.06 m ²)
所 在 美幌町字仲町1丁目1番1	(337.26 m ²)
所 在 美幌町字仲町1丁目85番2	(8.49 m ²)
※ 美幌峠売店休憩地地積	738 m ²
国 有 地 網走営林署より有償借受け	
所 在 美幌町字古梅国有林網走事業区27林班ちりヲ小班	

(2) 建 物

美幌商工会議所の所有する主たる建物及び物件

◎ 美幌経済センター

RC造（一部SRC造） 3階建

1階 450.78 m²（内 町所有 297.16 m²、会議所所有

93.07 m²、共有 60.55 m²）

2階 424.87 m²

3階 450.24 m² PH階 27.25 m²

合 計 1,353.14 m²

◎ 美幌峠レストハウス

鉄骨造 2階建

1階 560.20 m²

2階 523.65 m²（内 町所有 488.62 m²／会議所所有 35.03 m²）

合 計 1,083.85 m²

(3) 施 設

◎ 美幌経済センター

美幌商工会議所の所有する経済センターを本町産業経済の発展並びに社会福祉のため、適当と認める集会行事に対し、美幌経済センター運営規程に基づき貸与した。

◎ 美幌経済センター会議室使用状況

平成23年4月1日～平成24年3月31日

()内は23年度

月	第2研修室 役員室	大会議室A	大会議室B	大会議室	合計
4	1 (4)	1 (0)	4 (6)	3 (2)	9 (12)
5	8 (9)	0 (0)	7 (5)	3 (1)	18 (15)
6	11 (8)	2 (2)	7 (9)	1 (1)	21 (20)
7	4 (3)	0 (0)	5 (5)	1 (1)	10 (9)
8	4 (4)	0 (1)	5 (4)	1 (0)	10 (9)
9	2 (8)	0 (0)	6 (8)	4 (3)	12 (19)
10	9 (9)	0 (0)	7 (7)	4 (0)	20 (16)
11	13 (10)	1 (0)	6 (5)	4 (4)	24 (19)
12	8 (11)	0 (2)	5 (7)	1 (3)	14 (23)
1	1 (1)	0 (0)	3 (5)	1 (0)	5 (6)
2	3 (5)	0 (0)	6 (5)	0 (2)	9 (12)
3	12 (7)	0 (0)	6 (6)	4 (2)	22 (15)
合計	76 (79)	4 (5)	67 (72)	27 (19)	174 (175)

◎ 貸室2室
美幌建設業協会 / 美幌ロータリークラブ

◎ 美幌峠売店施設 (美幌峠物産館)

10. 関係団体への加入及び連携

(1) 日本商工会議所

イ 所属委員会

- ・観光委員会 委 員
- ・地域活性化委員会 委 員

(2) 北海道商工会議所連合会

イ 所属委員会

- ・観光振興委員会 副委員長
- ・地域開発委員会 委 員
- ・道州制特別委員会 委 員

ロ 会議等出席

会 議 名	月 日	出 席 者	場 所
東北北海道商工会議所専務理事・事務局長会議	4. 5	専務理事他	北見市
網走支庁管内会頭会議	4. 28	会 頭 他	北見市
東北北海道商工会議所専務理事懇談会	5. 12	専務理事	北見市
東北北海道商工会議所会頭会議	5. 13	会 頭 他	美幌町
全道商工会議所専務理事会議	5. 19	専務理事	札幌市
北海道商工会議所連合会通常会員総会	6. 8	会 頭 他	札幌市
東北北海道商工会議所要望活動	6. 9	会 頭 他	札幌市
全道商工会議所中小企業相談所担当者会議	6. 21	深田課長	札幌市
全道商工会議所専務理事会議	8. 11	専務理事	名寄市
東北北海道商工会議所要望活動	8. 26	専務理事	札幌市
北海道商工会議所連合会委員会	8. 26	専務理事	札幌市
北海道・東北商工会議所連絡会議	9. 7	専務理事	酒田市
東北北海道商工会議所専務理事・事務局長会議	10. 7	専務理事	紋別市
網走支庁管内会頭会議	11. 2	会 頭 他	紋別市
全道商工会議所会頭と北海道知事との懇談	11. 15	会 頭	札幌市
東北北海道商工会議所事務局長会議	12. 1	横山次長	釧路市
網走支庁管内専務理事・事務局長会議	1. 27	横山次長	網走市
全道商工会議所専務理事会議	2. 8	専務理事	札幌市
北海道商工会議所連合会通常会員総会	3. 9	専務理事	札幌市

ハ 大会・協議会等

・第61回全道商工会議所大会

日 時 平成23年7月2日

場 所 小樽市

出席者 会 頭 若 林 輝 彦
 副 会 頭 山 本 和 則 ・ 久 山 邦 徳
 専務理事 佐 藤 隆
 監 事 石 澤 信 勝
 顧 問 有 岡 貞 夫

・第91回東北海道商工会議所連絡協議会

日 時 平成23年5月13日

場 所 美幌グランドホテル

出席者 道東各商工会議所より 126名

来賓 16名

議 案 中小企業振興4件、運輸観光関係12件、地域振興12件、特別提案7件、
緊急特別提案1件の計36件（うち新規2件）採択。

内 容

<協議会>

13:30 東北海道商工会議所会頭会議

14:30 連絡協議会

1) 開 会

2) 来賓及び各地商工会議所会頭紹介

3) 東北海道商工会議所連絡協議会会長挨拶

4) 開催地会頭挨拶

5) 歓迎のことば

6) 北海道商工会議所連合会会頭挨拶

7) 来賓祝辞

8) 祝電披露

9) 議長選出・挨拶

10) 第90回連絡協議会経過報告(遠軽商工会議所)

11) 議 事

12) 次期開催地決定

13) 議事終了・議長退席

14) 閉 会

16:45 講演会

テーマ 「天の時、地の利、人の和」

講 師 佐藤貢悦氏(美幌町出身)

筑波大学人文社会研究科国際日本研究専攻教授

18:15 懇親会

<親睦ゴルフ大会>

(1) 日 時 平成23年5月14日(土) 8:30スタート

(2) 場 所 北見カントリークラブ

(3) その他の団体

北海道中小企業総合支援センター
中小企業オホーツク公和会
網走管内職業能力開発協会
美幌町防火管理連絡協議会
北海道火災共済協同組合
北海道中小企業共済協同組合
北見職安管内労働保険事務組合連合会
北海道社会保険協会北見支部
北海道ILO協会北見地方支部
網走地方職業病防止対策連絡協議会
美幌観光物産協会
北見電信電話ユーザー協会
美幌地区危険物安全協会
美幌地区交通安全協会
エイチ・イー・エス推進機構
北見工業大学地域共同研究センター
東京農業大学生物産業学部協力会
エア・ドゥオオホーツク友の会
オホーツク物産振興協議会
ベストウイズクラブ
北方圏センター

(4) 町内下記団体の事務代行若しくは、その指導及び事業に協力した。

(社) 網走地方法人会美幌支部
美幌青色申告会
美幌町連合商店会
美幌自衛隊退職者雇用協議会
美幌警察官友の会
(協) スマッピーカードびほろ

(5) 諸会議等の出席

会議等名称	月 日	出席者	場 所
スマッピーカードびほろ理事会	4. 7	深田課長	組合事務所
美幌職業訓練校修了・入校式	4. 8	横山次長	訓練校
美幌町観光物産推進定例会議	4. 8	横山次長	役場
美幌高校入学式	4. 9	会頭	美幌高校
美幌駐屯地入隊式	4.10	会頭	駐屯地
隊友会美幌支部総会	4.17	会頭	グランドホテル
みどり就労センター理事会	4.18	専務理事	就労センター
みどり就労センター総会	4.21	専務理事	しゃきっとプラザ
スマッピーカード企画委員会	4.22	深田課長	組合事務所
産業・雇用施策及び建設業向け支援説明会	4.26	深田課長	オホーツク総合振興局
美幌町特別職報酬等審議会	4.27	会頭	しゃきっとプラザ
美幌観光物産協会総会	4.28	横山次長	グランドホテル
網走地方法人会美幌支部役員会	5. 9	専務理事他	当所
網走地方青色申告会連合会総会	5.11	河野指導員	網走市
道新オホーツク政経懇話会例会	5.11	会頭	北見市
スマッピーカードびほろ理事会	5.11	深田課長	組合事務所
美幌青色申告会役員会	5.17	横山次長他	当所
網走地方法人会美幌支部総会	5.18	専務理事他	当所
管内商工会議所経営指導員連絡協議会	5.19	深田課長	北見市
網走地方法人会総会	5.20	横山次長	網走市
美幌峠まつり	5.20	会頭他	美幌峠
美幌青色申告会総会	5.22	専務理事他	当所
美幌みどりの村理事会	5.23	専務理事	グリーンビレッジ
オホーツク地域政策懇談会	5.25	横山次長	網走市
美幌町生き生き商店街総会	5.25	深田課長	割烹田村
女満別空港ビル監査会	5.26	会頭	女満別空港ビル
美幌・津別通年雇用協議会運営委員会	5.26	横山次長	役場
北海道火災共済総代会	5.26	専務理事	札幌市
自民党12選挙区政経セミナー	5.29	会頭	北見市
アクサ生命保険研修会	5.30	専務理事	当所
青少年育成協議会理事会・総会	5.31	専務理事	マナビティセンター
オホーツク公和会総会	5.31	専務理事	北見市
女満別空港ビル取締役会	6. 1	会頭	女満別空港ビル
HES 環境マネージャー説明会	6. 1	深田課長	札幌市
美幌警察官友の会役員会・総会	6. 3	会頭他	当所
美幌自衛隊退職者雇用協議会総会	6. 6	会頭他	当所
ハーモニーの会	6. 7	会頭	当所
美幌・津別通年雇用協議会総会	6. 9	会頭他	割烹みはる
美幌町観光物産推進定例会議	6. 9	横山次長	町民会館
スマッピーカードびほろ理事会	6. 9	深田課長	役場
美幌地方自衛隊協力会役員会・総会	6.10	会頭他	組合事務所
美幌町戦没者追悼慰霊祭	6.14	会頭	駐屯地
生命共済制度運営会議	6.15	専務理事	しゃきっとプラザ
北海道信用保証協会懇談会	6.16	深田課長	旭川市 北見市

美幌高校開校記念祝賀会	6.1 7	会頭	グランドホテル
北見方面警察官友の会総会	6.2 2	会頭	北見市
中小企業支援ネットワーク会議	6.2 3	河野指導員	北見市
女満別空港ビル株主総会	6.2 4	会頭	女満別空港ビル
陸上自衛隊第一特科団創隊記念行事	6.2 5	山本副会頭	北千歳駐屯地
労保連北見地区協議会役員会・総会	6.2 8	専務理事	北見市
道東縦貫道協議会総会	6.2 9	専務理事	弟子屈町
エア・ドゥオホーツク友の会役員会・総会	6.3 0	専務理事	網走市
美幌観光和牛まつり実行委員会	7. 1	横山次長	町民会館
美幌町連合商店会役員会	7. 6	専務理事他	当所
武部代議士を祝う会	7. 7	会頭	北見市
さっぽろ美幌会	7. 7	専務理事	札幌市
オータムフェスト打合せ	7. 8	伊藤補助員	観光物産協会
道新オホーツク政経懇話会例会	7.1 2	会頭	北見市
美幌町民交通安全大会	7.1 3	横山次長他	町民会館
美幌高校学校評議員会	7.1 5	専務理事	美幌高校
美幌駐屯地追悼式	7.2 3	専務理事	駐屯地
美幌療育病院美幌北療祭	7.2 4	深田課長	療育病院
緑の苑工事地鎮祭	7.2 4	会頭	緑の苑
スマッピーカードびほろ企画委員会	7.2 8	深田課長	組合事務所
みどりの村ふれあいまつり実行委員会	7.2 9	専務理事	グリーンビレッジ
スマッピーカードびほろ理事会	8. 2	深田課長	組合事務所
美幌町観光物産振興推進定例会議	8. 4	横山次長	役場
生き活き商店街誕生祭	8. 6	深田課長	北洋銀行駐車場
手作り出店実行委員会	8. 9	河野指導員	しゃきっとプラザ
商業活性化条例制定懇談会	8.1 9	久山副会頭他	当所
生き活き商店街誕生祭反省会	8.1 9	深田課長	居酒屋加賀屋
みどりの村ふれあいまつり実行委員会	8.2 3	専務理事	グリーンビレッジ
アマゾン北海道フェア説明会	8.2 3	伊藤補助員	北見市
美幌町座談会	8.2 4	会頭	役場
公共交通活性化協議会幹事会	8.2 4	専務理事	しゃきっとプラザ
再生可能エネルギー講座	8.2 4	会頭他	町民会館
環境対応セミナー	8.3 0	伊藤補助員	北見市
美幌青色申告会役員会	9. 2	河野指導員	当所
共済担当者会議	9. 7	伊藤補助員	北見市
北海道法人会全道大会	9. 8	横山次長	小樽市
管内商工会議所経営指導員連絡協議会	9. 8	河野指導員	北見市留辺蘂
みどりの村ふれあいまつり	9.1 1	専務理事	グリーンビレッジ
美幌峠秋風コンサート	9.1 1	横山次長	美幌峠
美幌高校開校記念講演会・講師を囲む会	9.1 1	会頭	グランドホテル
スマッピーカードびほろ理事会	9.2 1	深田課長	組合事務所
美幌駐屯地充実整備期成会役員会	9.2 9	会頭	役場
スタンプ協議会	10. 6	深田課長	札幌市
美幌町観光物産振興推進定例会議	10.1 2	横山次長	役場
高齢者等買物支援対策協議会	10.1 3	専務理事他	しゃきっとプラザ
日下道議就任記念パーティー	10.1 5	会頭	J A会館

SOSネットワークづくり協議会設立準備会	1 0 . 1 7	河野指導員	しゃきっとプラザ
スマッピーカードびほろ企画委員会	1 0 . 1 8	深田課長	組合事務所
みどりの村振興公社意見交換会	1 0 . 1 9	専務理事	グリーンビレッジ
網走地方法人会経営セミナー	1 0 . 2 0	横山次長	網走市
高齢者等買物支援対策協議会	1 0 . 2 1	専務理事他	役場
中小企業支援機関研修	1 0 . 2 5	河野指導員	北見市
スマッピーカードびほろ理事会	1 0 . 2 6	深田課長	組合事務所
美幌観光和牛まつり実行委員会	1 0 . 2 7	横山次長他	町民会館
雇用対策会議	1 0 . 2 8	専務理事	北見市
日経セミナー	1 0 . 2 9	会頭他	グランドホテル
松木代議士懇談会	1 0 . 2 9	会頭他	しゃきっとプラザ
T P P オホーツク集会	1 1 . 1	専務理事	網走市
美幌町連合商店会役員会	1 1 . 1	横山次長他	当所
自民党 1 2 選挙区移動政調会	1 1 . 5	会頭他	北見市
道新オホーツク政経懇話会例会	1 1 . 7	会頭	北見市
労働保険推進員研修会	1 1 . 1 0	河野指導員	北見市
新年交礼会発起人会	1 1 . 1 4	会頭他	当所
美幌青色申告会税の書道展表彰式	1 1 . 1 4	久山副会頭他	当所
みどり就労センター理事会	1 1 . 1 5	専務理事	みどり就労センター
知財関連講習会	1 1 . 1 6	伊藤補助員	北見市
青年の主張大会	1 1 . 1 9	専務理事	美幌小学校
女満別空港ビル監査役会	1 1 . 2 1	会頭	女満別空港ビル
網走地方法人会事務局会議	1 1 . 2 2	横山次長	網走市
北 1 丁目商店街経営強化セミナー	1 1 . 2 4	横山次長他	北 1 事務所
美幌・津別通年雇用協議会運営委員会	1 1 . 2 5	横山次長	役場
オホーツク地域再生シンポジウム	1 1 . 2 5	専務理事	網走市
松木代議士国政の集い	1 1 . 2 6	会頭他	北見市
女満別空港ビル取締役会	1 1 . 2 8	会頭	女満別空港ビル
美幌高校学校評議員会	1 1 . 3 0	専務理事	美幌高校
職業訓練校 I T ビジネス科入校式	1 2 . 2	専務理事	訓練校
防衛省東京美幌会	1 2 . 3	会頭	東京
道都美幌会	1 2 . 4	会頭	札幌市
町融資打合せ会議	1 2 . 5	専務理事他	当所
社会的企業支援意見交換会	1 2 . 6	横山次長	北見市
スマッピーカードびほろ理事会	1 2 . 6	深田課長	組合事務所
環境マネージャー研修会	1 2 . 8	深田課長	札幌市
障害者自立支援協議会	1 2 . 8	横山次長	しゃきっとプラザ
e - T a x 研修会	1 2 . 1 5	河野指導員	網走市
第一特科群銃剣道大会昼食会	1 2 . 1 7	会頭	スポーツセンター
隊友会年忘れ会	1 2 . 1 8	会頭	グランドホテル
高齢者等買物支援協議会	1 2 . 2 1	専務理事他	しゃきっとプラザ
美幌警察官友の会歳末慰問	1 2 . 2 2	会頭他	美幌警察署他
美幌駐屯地年忘れ会	1 2 . 2 3	会頭他	駐屯地
女満別空港利用促進協議会総会	1 2 . 2 6	会頭	大空町
除夜祭及び元日祭	1 2 . 3 1	会頭他	美幌神社
美幌町民新年交礼パーティ	1 . 4	会頭他	グランドホテル
ロータリークラブ家族例会	1 . 5	会頭	グランドホテル

道新新年交礼会	1. 6	会頭	北見市
消防出初式	1. 6	久山副会頭	消防署
成人の集い	1. 8	会頭	コミセン
美幌駐屯地成人祝賀会	1.1 1	会頭	駐屯地
美幌町観光物産振興推進定例会議	1.1 2	横山次長	役場
美幌建設業協会新年交礼会	1.1 2	会頭他	グランドホテル
武部代議士・高橋道議新春の集い	1.1 3	会頭他	J A会館
自衛隊父兄会美幌地区懇親会	1.1 5	会頭	グランドホテル
道新オホーツク政経懇話会	1.1 6	会頭	北見市
スマッピーカードびほろ理事会	1.1 8	深田課長	居酒屋加賀屋
生き生き商店街新年会	1.2 0	深田課長	割烹田村
税務指導協議会	1.2 4	専務理事	網走市
税務指導所事務連絡会議	1.2 4	河野指導員	網走市
通年雇用促進協議会セミナー	1.2 5	横山次長他	グランドホテル
T P P 公開講座	1.2 7	専務理事	J A会館
スマッピーカードびほろ新年会	1.2 7	深田課長	焼肉チャンピオン
障害者自立支援協議会	1.3 0	横山次長	しゃきっとプラザ
美幌観光物産協会理事会	2. 1	専務理事	青葉荘
スマッピーカードびほろ理事会	2.1 0	深田課長	組合事務所
土谷町長新春の集い	2.1 2	会頭	町民会館
管内商工会議所経営指導員連絡協議会	2.1 6	深田課長	網走市
自殺予防対策会議	2.1 6	横山次長	しゃきっとプラザ
日下道議新年交礼会	2.1 9	会頭	J A会館
女満別高校甲子園出場美幌協賛会	2.2 2	専務理事他	当所
高齢者等買物支援協議会	2.2 4	専務理事他	しゃきっとプラザ
公共交通活性化協議会幹事会	2.2 4	専務理事	しゃきっとプラザ
スマッピーカードびほろ通常総会	2.2 5	深田課長	当所
T P P 交渉反対総決起集会	2.2 6	専務理事	網走市
職業訓練校 I T ビジネス科修了式	3. 1	横山次長	訓練校
美・津通年雇用促進支援協議会運営会議	3. 2	横山次長	役場
自衛隊新入隊員を励ます会	3. 3	会頭	町民会館
北海道火災共済協同組合地方委員説明会	3. 7	深田課長	札幌市
鈴木宗男氏新春交礼会	3. 9	会頭	グランドホテル
産業保健センター運営協議会	3.1 3	専務理事	北見市
アクサ生命トップマネジメント	3.1 4	会頭他	東京
美幌神社豊穰祈願祭	3.1 7	会頭	美幌神社
高齢者等買物支援協議会	3.2 6	横山次長他	しゃきっとプラザ
障害者自立支援協議会	3.2 9	横山次長	しゃきっとプラザ

11. そ の 他

- (1) 人 口 21, 288人 (平成24年3月31日現在)
- (2) 商工業者 941事業所 (事業所統計)
- (3) 小規模事業者数 670事業所 (事業所統計)